

津市川合公民館空調設備改修工事

図面リスト			
図面番号	機械設備工事	図面番号	電気設備工事
M-1	表紙・図面リスト	E-1	電気設備工事特記仕様書 1
M-2	機械設備工事特記仕様書 1	E-2	電気設備工事特記仕様書 2
M-3	機械設備工事特記仕様書 2	E-3	電気設備工事特記仕様書 3
M-4	配置図・付近見取図 1/400	E-4	電気設備 配置図 1/200
M-5	(改修・撤去) 機器仕様	E-5	高圧単線結線図
M-6	配管・配線系統図	E-6	分電盤結線図
M-7	(改修) 平面図 1/100	E-7	1階平面図 1/100
M-8	(撤去) 平面図 1/100		
M-9	空調リモコン配線 平面図 1/100		
M-10	仮設計画図 1/100		
M-11	天井伏図 1/100		

※ 横走り管の吊り間隔

鋼管	100A以下 125A以上	- -	2m以下 3m以下
ビニル管 耐火二層管 鋼管	80A以下 100A以上	- -	1m以下 2m以下
鉛管			1.5m以下
鍍鉄管	標準図による		

※ 横走り管形鋼振れ止め支持間隔

支持間隔	6m以下	8m以下	12m以下
鋼管	-	50A~100A	125A~
鍍鉄管			
ビニル管 耐火二層管 鋼管	25A~40A	50A~100A	125A~

※ 冷媒用鋼管の横走り管の支持間隔

基準外径 9.52mm 以下 吊り間隔 1.5m以下 ※ 液管・ガス管共吊りの場合は
基準外径 12.70mm 以上 吊り間隔 2.0m以下 液管の外径を基準とする。
形鋼振れ止め支持間隔は、鋼管に準ずる。

2) ダクト工事

- 矩形ダクト
- 垂鉛鉄板 JIS G 3302 (SGCC、SGCCA) 鍍金付着Z18以上
 - ステンレス鋼板 JIS G4305
- 工法
- アングルフランジ工法
 - 共板フランジ工法
 - スライドオンフランジ工法
 - 山形鋼 JIS G 3101
 - スパイラルダクト
- 形鋼補強
- SUS鋼材 JIS G 4317
- 丸ダクト
- 下水道用リサイクル三层硬質塩化ビニル管 (多湿箇所) AS-62 (RS-VU)

3) 保温塗装工事

1) 材料 部分的に材料を変更する場合は、図面に明記すること。

■ グラスウール保温材 (屋内一般等)	保温筒 JIS A 9504 2号 40K	保温板、保温帯 JIS A 9504 2号 40K
<input type="checkbox"/> 給水管	<input type="checkbox"/> 排水管	<input type="checkbox"/> 給湯管
<input type="checkbox"/> 蒸気管	<input type="checkbox"/> 冷水・冷温水管	<input type="checkbox"/> 冷媒管
<input type="checkbox"/> 給湯管	<input type="checkbox"/> 温水管	<input type="checkbox"/> 蒸気管
<input type="checkbox"/> 冷媒管	<input type="checkbox"/> 冷水・冷温水管	<input type="checkbox"/> 消火管

□ ロックウール保温材 (防火区画貫通部等)	保温筒 1号 JIS A 9504	保温帯、ブランケット
<input type="checkbox"/> 給水管	<input type="checkbox"/> 排水管	<input type="checkbox"/> 給湯管
<input type="checkbox"/> 蒸気管	<input type="checkbox"/> 冷水・冷温水管	<input type="checkbox"/> 冷媒管
<input type="checkbox"/> 給湯管	<input type="checkbox"/> 温水管	<input type="checkbox"/> 蒸気管
<input type="checkbox"/> 冷媒管	<input type="checkbox"/> 冷水・冷温水管	<input type="checkbox"/> 消火管

□ ポリスチレンフォーム保温材 (屋内一般等)	保温筒 JIS A 9511 3号	保温板 JIS A 9511 3号
<input type="checkbox"/> 給水管	<input type="checkbox"/> 排水管	<input type="checkbox"/> 冷水・冷温水管
<input type="checkbox"/> フライン管	<input type="checkbox"/> 給湯管	<input type="checkbox"/> 冷媒管
<input type="checkbox"/> 給水管	<input type="checkbox"/> 排水管	<input type="checkbox"/> 給湯管
<input type="checkbox"/> フライン管	<input type="checkbox"/> 消火管	<input type="checkbox"/> 冷水・冷温水管

□ 調合ベイント塗り塗料 (露出)	JIS K 5516 (合成樹脂調合ベイント) 1種
<input type="checkbox"/> 給水管	<input type="checkbox"/> 排水管
<input type="checkbox"/> ガス管	<input type="checkbox"/> 消火管
<input type="checkbox"/> 給湯管	<input type="checkbox"/> 通気管
<input type="checkbox"/> 冷媒管	<input type="checkbox"/> ドレン管
<input type="checkbox"/> 消火管	<input type="checkbox"/> 油管
<input type="checkbox"/> 給湯管	<input type="checkbox"/> 冷却水管

2) 保温厚

グラスウール、ロックウール	保温厚 (mm)	20	25	30	40	50
給水・排水・ドレン・給湯	~80A	100~150A	-	200A~	-	-
膨張・温水・消火管	-	-	32~50A	65A~	-	-
蒸気管	~25A	-	~25A	32~200A	250A~	-
冷水・冷温水・冷媒管	-	-	-	-	-	-

・ ポリスチレンフォーム

保温厚 (mm)	20	25	30	40	50	65
給水・消火・排水管	~80A	100A~	-	-	-	-
冷水・冷温水管	-	-	~25A	32~200A	250A~	-
冷水管 (冷水温度2~4℃)	-	-	~20A	25A~100A	125A~	-
フライン管	-	-	-	~25A	32~80A	100A~

・ 機器ダクト保温厚

保温厚	ダクト(屋内露出 [機械室、書庫、倉庫]、隠蔽部)、消音チャンパー・エルボ
25mm	膨張タンク、鋼板製タンク、排煙ダクト隠蔽部(ロックウール)
50mm	ダクト(屋内露出 [一般居室、廊下])、サブライチャンパー、貯湯タンク類
75mm	冷水・冷温水・温水・環水タンク、熱交換器、冷水・冷温水・温水・蒸気ヘッダー
	排気筒隠蔽部(ロックウール)
	煙導 (ロックウール)

3) 種別

種別	1	2	3	4
屋内露出	保温筒	鉄線	合成樹脂製カバー	
機械室・書庫・倉庫	保温筒	鉄線	原紙	アルミガラスクロス仕上
天井内・P S内	保温筒	鉄線	アルミガラスクロス仕上	
暗渠内 (ピット内)	保温筒	鉄線	ポリエチレンフィルム	着色7A53仕上
屋外露出	保温筒	鉄線	ポリエチレンフィルム	SUS鋼板仕上

- ※ 1) 排水管については、上表暗渠内 (ピット内) の仕様を防食テープ巻きに読み替える。
- ※ 2) サヤ管工法; 架橋ポリエチレン・ポリブテン管使用の場合は、上表保温不要。
- ※ 3) 消火管の外部露出は保温を行う。

空調設備配管の保温仕様 (R、G保温材の仕様のみ)

種別	1	2	3	4	5
屋内露出	保温筒	鉄線	合成樹脂製カバー		
機械室・書庫・倉庫	保温筒	鉄線	原紙	アルミガラスクロス仕上	
天井内・P S内 (温水・蒸気管以外)	保温筒	鉄線	アルミガラスクロス仕上		
暗渠内 (ピット内)	保温筒	鉄線	アルミガラスクロス仕上		
屋外露出	保温筒	鉄線	ポリエチレンフィルム	SUS鋼板仕上	

- ※ 1) 冷媒管に断熱材被覆鋼管を使用した場合の保温種別
- 保温化粧ケース仕上
- ポリスチレン成形の上、SUS鋼板仕上 (屋外露出部分)

機器保温仕様

種別	1	2	3	4	5
冷水・冷温水タンク	紙	保温板	ポリエチレンフィルム	鉄線	SUS鋼板仕上
鋼板製タンク					カラー鉄板 (屋内)
冷水・冷温水ヘッダ					
温水・膨張・還水貯湯タンク	紙	保温板	鉄線	SUS鋼板仕上	カラー鉄板 (屋内)
温水・蒸気ヘッダ熱交換器					

- ※ 1) 密閉式膨張タンク及び、プレート形熱交換器は、保温施工不要

ダクト・チャンパー・煙導 保温仕様

種別	1	2	3	4	5
長方形ダクト	屋内露出	一般・廊下	機械室	カラ-鉄板	
	屋内隠蔽、DS内	紙	アルミガラスクロス化粧保温板	アルミガラスクロス化粧テープ	
	屋外露出、多湿箇所	紙	アルミガラスクロス化粧保温板	アルミガラスクロス化粧テープ	
	屋外露出	一般・廊下	保温筒	ポリエチレンフィルム	鉄線
	屋内露出	機械室	アルミガラスクロス化粧保温筒	アルミガラスクロス化粧テープ	SUS鋼板
	屋外露出、多湿箇所	保温筒	鉄線	ポリエチレンフィルム	鉄線
	屋外露出、多湿箇所	保温筒	鉄線	カラ-鉄板	SUS鋼板
	サブライチャンパー	紙	保温板	ガラスクロス	銅甲金網
	消音チャンパー、エルボ	紙	保温板	ガラスクロス	
	排煙ダクト長方形	屋内隠蔽	紙	アルミガラスクロス化粧保温板	アルミガラスクロス化粧テープ
	排煙ダクト円形	屋内隠蔽	紙	アルミガラスクロス化粧保温板	カラ-鉄板
	煙導	フライン管	鉄線	カラ-鉄板	

- ※ 1) 排煙ダクトは、ロックウール保温板、保温帯、1号を使用。
- ※ 2) 煙導ブランケットは、JIS G 3554 (亀甲金網) による垂鉛鍍金を施した網目16線径0.55による防錆処理を施した平ラソ0号で外面補強したものを使用。
- ※ 3) 銅甲金網は、JIS H 3260 網目10、線径0.5

配管用炭素鋼鋼管の塗装仕様

種別	状態	塗料の種類	塗り回数	備考
白管	露出	調合ベイント	1 1 1	下塗りはさび止めベイント
黒管	露出	調合ベイント	2 1 1	下塗りはさび止めベイント

- ※ 1) ねじ切りした部分の鉄面は、さび止めベイント2回塗りを行う。

4) 施工

ダクト保温施工範囲

1. SA
 - 保温あり
 - 保温なし
 - 図面による
 - その他 ()
 2. EA
 - 保温あり
 - 保温なし
 - 図面による
 - その他 ()
 3. RA
 - 保温あり
 - 保温なし
 - 図面による
 - その他 ()
 4. OA
 - 保温あり
 - 保温なし
 - 図面による
 - その他 ()
- チャンパー内貼施工
- 内貼あり (mm)
 - 内貼なし
 - 図面による
 - その他 ()

4) スリーブ工事

1. 管スリーブの径は、原則として、管の外径 (保温されるものは、保温厚さを含む) より40mm程度大 (=2サイズUP) なるものとする。
箱抜きスリーブは、木枠又は鋼板 (実管ダクト) とする。
2. 地中部分のスリーブは、塩化ビニル管 (VU) とし、水密を要する部分のスリーブは、つば付き鋼管とする。
3. その他のスリーブは、特記なき限り、紙ボイドとする。紙ボイド使用の際は、配管前に必ず撤去のこと。

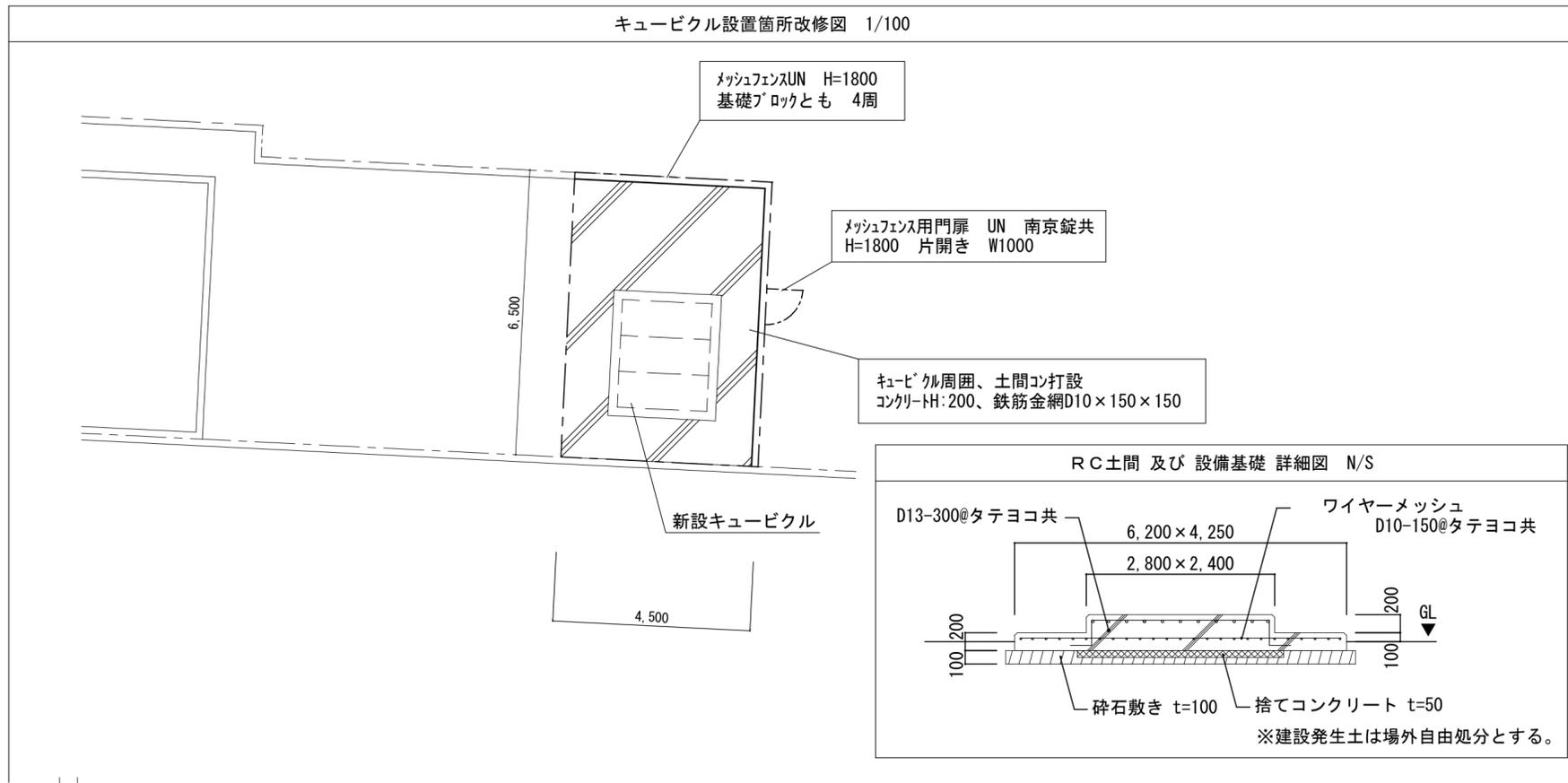
共通事項

- 1) 陸上ポンプ、送排風機 (エアハン含む) の電動機は、すべて全閉防まつ形とする。
- 2) 配管途中、要所にはフランジ接続箇所を設置し、取り外しを容易にすること。
- 3) 系統が分かるように、必要箇所 (機械室、P S内等) に文字書き・矢印記入・バルブ札取付を行うこと。手書きもしくはカッティングシートとする。
- 4) 機器・配管・支持金物には、絶縁処理を行うこと。
- 5) 配管に空気が滞留する恐れのある箇所には、エア抜き弁を設置し、最寄りのドレン管に接続すること。
- 6) 屋外機器設置基礎のアンカーボルトは、構造体鉄筋より取り出す、もしくはあと施工アンカー工法の類とする。使用アンカーについては、機器仕様書、耐震クラス等を確認すること。また、重量機器にあと施工アンカー工法を採用する場合、ケミカルアンカーを使用し施工すること。
- 7) 機器・配管の耐震措置及び機器、ダクトの防振・消音については、標準仕様書・標準図、施工管理指針及び建築設備耐震設計・施工指針に基づき十分考慮すること。
- 8) 雨がかり部に取り付けるガラのチャンパーには、水抜きを設けること。
- 9) 屋外埋設管 (給水、消火、ガス) には、埋設シートを敷設し、曲がり・分岐部には、地中埋設機を施工すること。
- 10) 冷水及び冷温水管の支持材には、合成樹脂製支持受けを使用すること。
- 11) 水栓は、節水機構付きのものを使用すること。
- 12) 冷媒管等防火区画貫通部は、建築基準法・消防法に適合する工法にて防火処理を行うこと。
- 13) 地中埋設配管については、下記の状況対策を講ずること。
 - ・ 管は継ぎ手の組み合わせによりかつとう性を高める。
 - ・ 接続箇所は必要に応じてコンクリートで保護する。
 - ・ 土間配管は、土間防に吊り下げるなど埋設配管を保持すること。
 - ・ 呼び径100A以下はM10、125A~250AはM12、250A以上はM16のステンレス棒鋼を使用する。
- 14) 屋外露出及び多湿箇所 (トレンチピット等) の配管架台は、SUS又はSS溶融亜鉛メッキ仕上げとすること。
- 15) 屋外設置のマンホール類には用途名を入れること。
- 16) 合成樹脂製カバーの仕上げについては、保温見切り箇所には菊座の取り付けを行うこと。
- 17) 送風機用ベルトカバーには点検口を設けること。
- 18) 建設発生土は場外自由処分とすること。

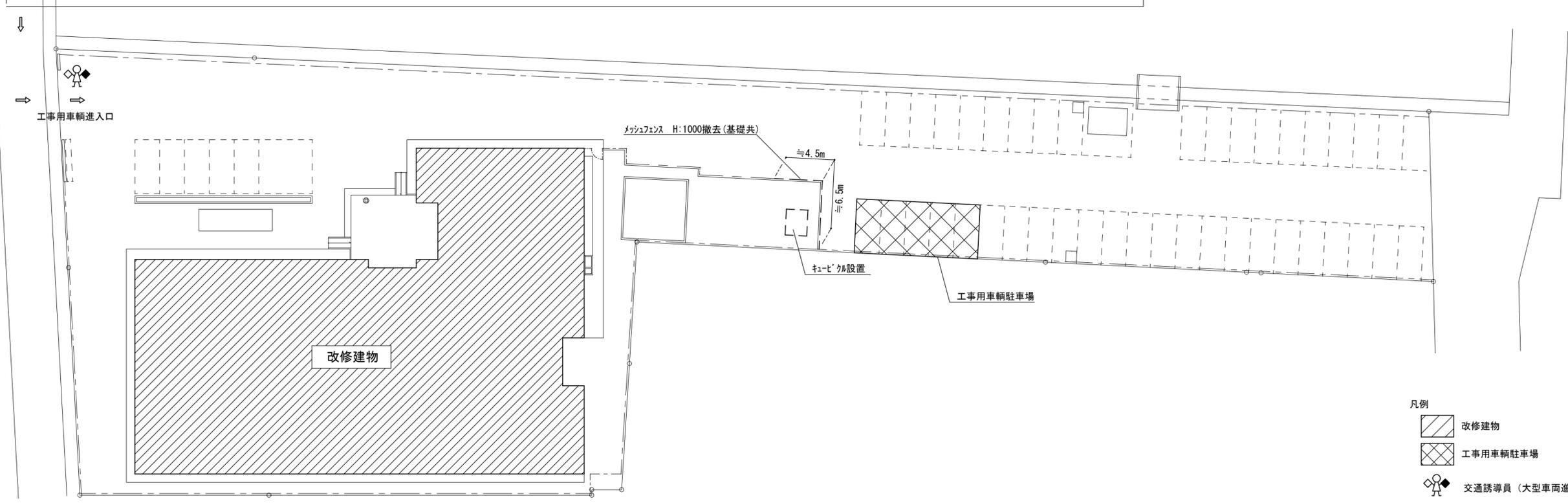
※特記事項

- ※ 工事契約後、速やかに調査及び施工計画書を作成し、現場着手までに市監督員の承認を得ること。
- ※ 現場作業着手までの敷地内調査は、事前に施設関係者及び市監督員の承諾を得るものとし、行事に影響を与えない範囲とする。
- ※ 工事作業については、工事の遂行に必要な施工体制を確保すること。
- ※ 工事中の安全計画・消防計画等は、市監督員と十分協議し災害防止に努めること。
- ※ 火災が発生する作業や溶接作業を行う場合は、火災の取扱いに十分注意するとともに、適切な消火設備、防災シート等を設けるなど、火災の防止措置を講ずること。
- ※ 本工事における諸行為への届出、手続き及び書類等は、速やかに提出し工事の遂行に影響の無いよう努めること。
- ※ 工事期間中、現場内入場者、近隣関係者へ危害を与えないよう注意し、かつ周辺道路等に資材を落下させたり、ほこり等を飛散させないよう万全の注意を払うこと。
- ※ 安全対策として、作業範囲にはコーンバー等を設置すること。
- ※ 側溝、樹等は車両通行時に破損しないよう、鉄板敷き等で養生すること。
- ※ 工事車両の出入りについては、安全確保に十分配慮すること。
- ※ 大型車両進入時には誘導員を配置し、通行人及び敷地周辺の安全確保に配慮すること。
- ※ 工事車両及び工事関係車両は、周辺道路に駐車しないこと。
- ※ 特定作業に伴って発生する騒音は、低振動・低騒音に努め騒音規制法に基づき、関係機関への届出打合せの上、作業に着手することとし、また、周辺住民からの苦情があった時は、工事を一時中断し、誠意をもって地元調整を行い、工事の再開は市監督員の承諾を得てから行うこと。
- ※ 工事着手前には、現状状況把握のために破損箇所等があれば、市監督員の立会のもと写真等に記録しておくこと。また、工事過程において、既存施設に破損等を与えた場合は、工事受注者の負担において速やかに復旧すると共に、市監督員に報告すること。
- ※ 11月10、11日においては文化祭の為、工事作業を行わないこと。
- ※ また、文化祭までにアスファルトの撤去復旧工事を行うこと。
- ※ 本工事の現場施工にあたっては施設運営に支障のないようにすること。
- ※ 当公民館は工事期間中も休館しないため、契約締結後速やかに詳細な工程を調整の上決定すること。
- ※ 設計書に明記なくとも、機能上及び構造上当然必要と認められるものは本工事に含む。なお、内訳書の数量は参考とし、当図面を優先する。

キュービクル設置箇所改修図 1/100



付近見取図



配置図 1/400

- 凡例
- 改修建物
 - 工事用車両駐車場
 - 交通誘導員(大型車両進出時)
 - 工事車両進入経路

改訂日	改訂記号	改訂内容	印	設計・監理 一級建築士事務所登録 三重県知事 1-2319	管理建築士 承認 設計 製図	津市川合公民館空調設備改修工事	年月日 1/100 1/400 縮尺	No. M-4 原図:A2
				株式会社 マ ッ ダ 設 計 514-0064 三重県津市長岡町800-90 TEL: 059-228-6590 FAX: 059-228-6590	一級建築士 大臣登録 264600 松田 恭一			

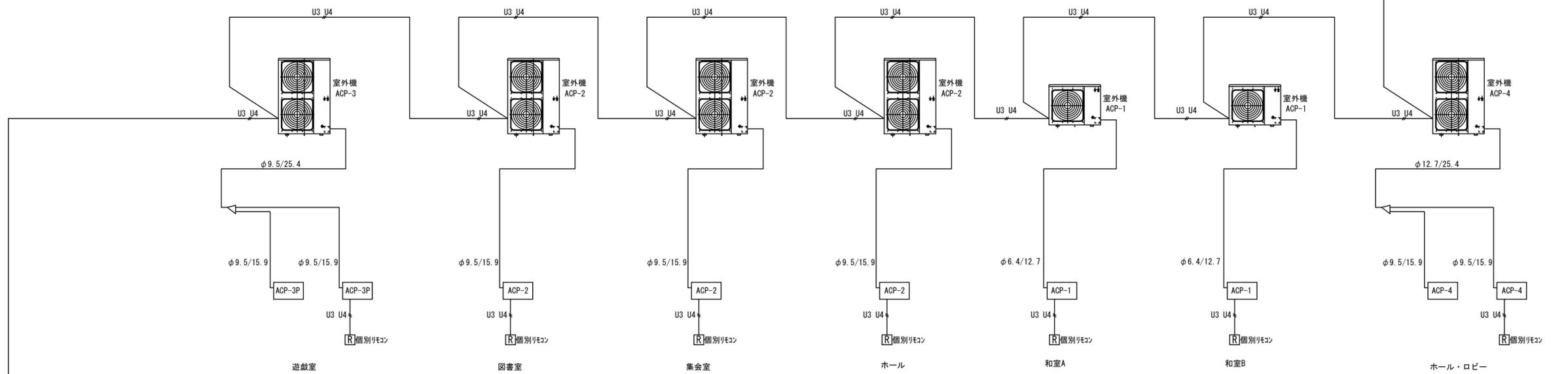
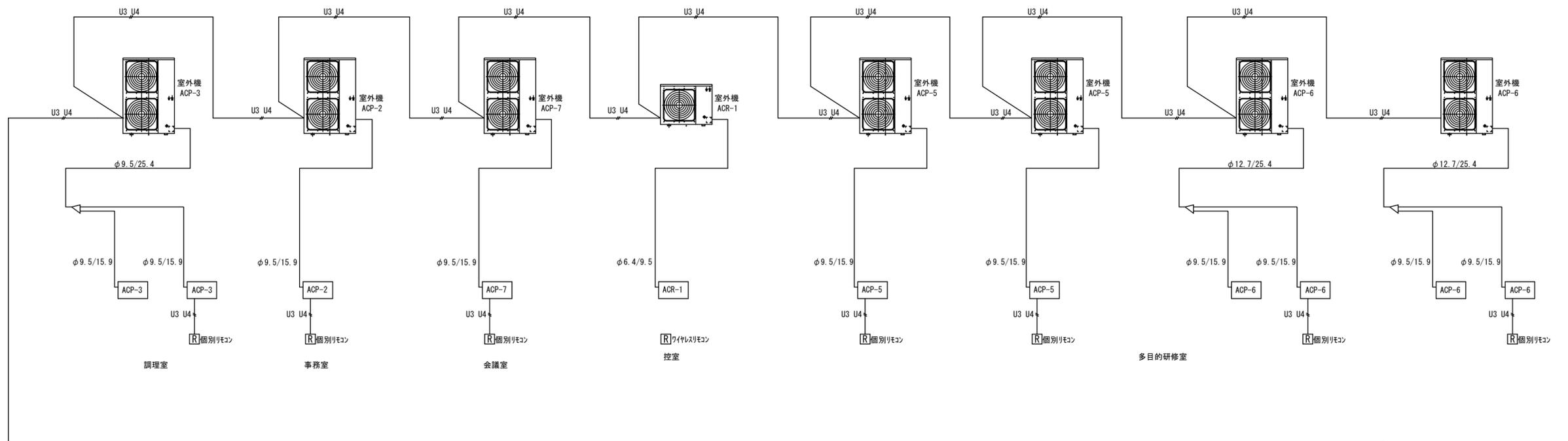
空調機器表（新設）				
記号	形式・名称	仕様	台数	備考・参考型番
ACR-1	ルームエアコン	冷房能力：2.8(0.7~4.2)Kw 暖房能力：3.6(0.7~6.4)Kw	1	既成コンクリート架台
	壁掛け	単相100v 冷房定格消費電力：0.58kW 暖房定格消費電力：0.72kW		防振ゴム(t=10)
		ワイヤレスリモコン		集中リモコンアダプター
ACP-1	パッケージエアコン	冷房能力：5.0(1.9~5.6)Kw 暖房能力：5.6(1.6~7.3)Kw	2	既成コンクリート架台
	天井カセット2方向	3相200v 冷房定格消費電力：1.33kW 暖房定格消費電力：1.89kW		防振ゴム(t=10)
		ワイヤードリモコン		集中リモコンアダプター
ACP-2	パッケージエアコン	冷房能力：10.0(2.7~11.2)Kw 暖房能力：11.2(2.8~14.0)Kw	4	既成コンクリート架台
	天井カセット4方向	3相200v 冷房定格消費電力：2.89kW 暖房定格消費電力：2.62kW		防振ゴム(t=10)
		ワイヤードリモコン、リニューアルパネル		集中リモコンアダプター
ACP-3	パッケージエアコン	冷房能力：20.0(6.0~22.4)Kw 暖房能力：22.4(5.6~27.0)Kw	1	既成コンクリート架台
	天井カセット4方向	3相200v 冷房定格消費電力：5.57kW 暖房定格消費電力：5.95kW		防振ゴム(t=10)
	同時ツイン	ワイヤードリモコン、リニューアルパネル		集中リモコンアダプター
ACP-3P	パッケージエアコン	冷房能力：20.0(6.0~22.4)Kw 暖房能力：22.4(5.6~27.0)Kw	1	既成コンクリート架台
	天井カセット4方向（自動昇降）	3相200v 冷房定格消費電力：5.57kW 暖房定格消費電力：5.95kW		防振ゴム(t=10)
	同時ツイン	ワイヤードリモコン（自動昇降用共）、化粧パネル×2（自動昇降）、リニューアルパネル		集中リモコンアダプター
ACP-4	パッケージエアコン	冷房能力：25.0(6.8~28.0)Kw 暖房能力：28.0(7.0~34.0)Kw	1	既成コンクリート架台
	天井カセット4方向	3相200v 冷房定格消費電力：8.40kW 暖房定格消費電力：7.50kW		防振ゴム(t=10)
	同時ツイン	ワイヤードリモコン、リニューアルパネル		集中リモコンアダプター
ACP-5	パッケージエアコン	冷房能力：10.0(2.7~11.2)Kw 暖房能力：11.2(2.8~14.0)Kw	2	
	天井ビルトイン	3相200v 冷房定格消費電力：2.83kW 暖房定格消費電力：2.83kW		防振ゴム(t=10)
		ワイヤードリモコン		集中リモコンアダプター
ACP-6	パッケージエアコン	冷房能力：25.0(6.8~28.0)Kw 暖房能力：28.0(7.0~34.0)Kw	2	
	天井ビルトイン	3相200v 冷房定格消費電力：10.9kW 暖房定格消費電力：8.84kW		防振ゴム(t=10)
	同時ツイン	ワイヤードリモコン		集中リモコンアダプター
ACP-7	パッケージエアコン	冷房能力：10.0(2.7~11.2)Kw 暖房能力：11.2(2.8~14.0)Kw	1	既成コンクリート架台
	天吊り	3相200v 冷房定格消費電力：2.65kW 暖房定格消費電力：2.85kW		防振ゴム(t=10)
		ワイヤードリモコン、ドレンアップキット		集中リモコンアダプター
集中管理リモコンスイッチ		100/200V ゲルマ制御、個別制御ノ一括運転停止、温度設定	1	
<p>特記事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運転特性、能力はJIS条件による。 ・電源容量値は参考とする。 ・空調機は省エネタイプを仕様すること。 ・空調機トップランナー基準改定仕様とする。 ・冷媒ガスはオゾン破壊係数ゼロとする。 ・機器の製作仕様は国土交通省仕様とする。 ・リモコン配線共本工事とする。 但し該当しない機器については製造者標準仕様とする。 ・室外機-室内機間の2次側配線は冷媒管と抱き合わせの上本工事とする。 ・室外機・室内機共耐震振れ止め、転倒防止を施す事。 ・機器は同等品以上とする。 ・アンカーはケミカルアンカー仕様とする。（既成コンクリート架台除く） ・室外機はSUS製ボルトにて固定、Wナットにて締付けのこと。（既成コンクリート架台除く） 				

送風機 機器表（新設）				
記号	形式・名称	仕様	台数	備考・参考型番
SF-1	シーリングファン	φ900	2	
	天井付	単相100v 強/中/弱切替		56/34/10.5W
		速度調節器		

空調機器表（撤去）				
記号	形式・名称	仕様	台数	備考・参考型番
GHP-1	ガスヒートポンプマルチエアコン	冷房能力：56.0kW 暖房能力：71.0kW	1	
	室外ユニット	3相200v		
GHP-2	ガスヒートポンプマルチエアコン	冷房能力：56.0kW 暖房能力：71.0kW	1	
	室外ユニット	3相200v		
GHP-3	ガスヒートポンプマルチエアコン	冷房能力：56.0kW 暖房能力：71.0kW	1	
	室外ユニット	3相200v		
AC-M90	ガスヒートポンプマルチエアコン	冷房能力：9.0kW 暖房能力：11.8kW	3	
	室内機 天井カセット 4方向	単相200V		
AC-M112	ガスヒートポンプマルチエアコン	冷房能力：11.2kW 暖房能力：14.0kW	5	
	室内機 天井カセット 4方向	単相200V		
AC-M140	ガスヒートポンプマルチエアコン	冷房能力：14.0kW 暖房能力：18.0kW	2	
	室内機 天井カセット 4方向	単相200V		
AC-B56	ガスヒートポンプマルチエアコン	冷房能力：5.6kW 暖房能力：7.1kW	(2)	撤去しない
	室内機 ビルトイン型	単相200V		
AC-B112	ガスヒートポンプマルチエアコン	冷房能力：11.2kW 暖房能力：14.0kW	3	
	室内機 ビルトイン・ハーフバ 3相型	単相200V		
AC-B140	ガスヒートポンプマルチエアコン	冷房能力：14.0kW 暖房能力：18.0kW	4	
	室内機 ビルトイン・ハーフバ 3相型	単相200V		
AC-K28	ガスヒートポンプマルチエアコン	冷房能力：2.8kW 暖房能力：3.6kW	1	
	室内機 壁掛型	単相200V		

凡 例			
図示記号	名 称	配管材料	保温仕様
— R —	冷媒管	空調用保温付被覆銅管 保温厚 液管：10mm（ただし、φ10未満は8mm） ガス管：20mm	屋内露出：配管化粧カバー 屋外露出：ポリスチレン成形+SUS鋼板ラッキング
— D —	ドレン管	硬質塩化ビニル管（VP）	天井内：グラスウール+アルミガラスクロス化粧保温筒

改訂日	改訂記号	改訂内容	印	設計・監理 一級建築士事務所登録 三重県知事 1-2319	管理建築士	承認	設計	製図	津市川合公民館空調設備改修工事	年月日	No.
				株式会社 マ ツ ダ 設 計 514-0064 三重県津市長岡町800-90 TEL：059-228-6590 FAX：059-228-6590	一級建築士 大臣登録 264600 松田 恭一				図面名	—	M-5 原図：A2
			(新設・撤去) 機器仕様						縮尺		



電源
単相100V
(電気工事)

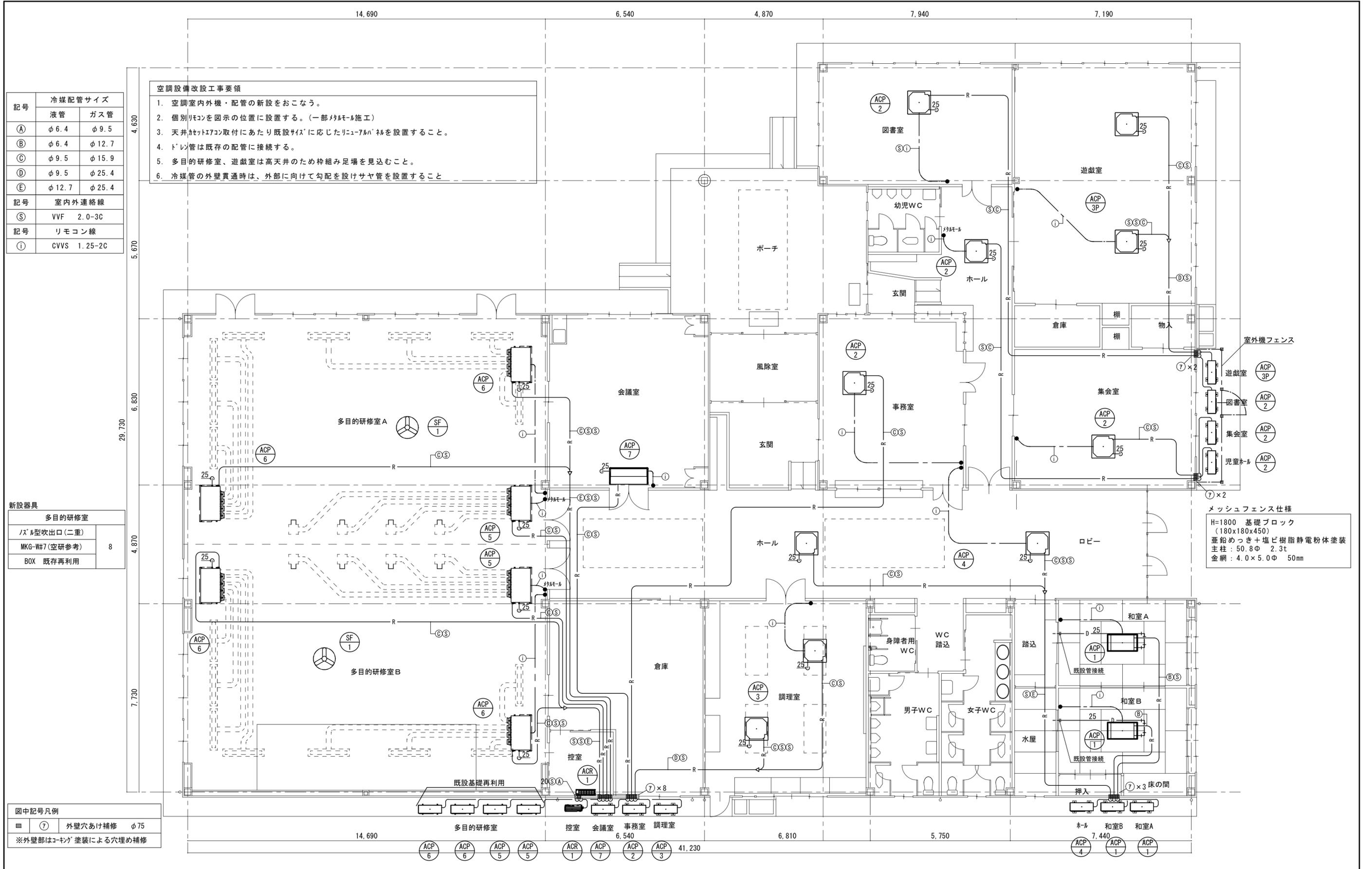
集中管理リモコンスイッチ

U3,U4線：集中管理制御用（2芯シールド線）
 ※集中リモコン用制御配線、配管は本工事とする。
 ※配線・配管サイズ、系統は参考とする。（メーカー標準とする）
 ※室内外連絡配線は本工事とする。（冷媒共巻き）

空調配管・配線系統図

改訂日	改訂記号	改訂内容	印	設計・監理 一級建築士事務所登録 三重県知事 1-2319	管理建築士	承認	設計	製図	津市川合公民館空調設備改修工事	年月日	No. M-6
				株式会社 マ ッ ダ 設 計	一級建築士 大臣登録 264800 松田 恭一						

514-0064 三重県津市長岡町800-90
 TEL: 059-228-6590 FAX: 059-228-6590



改訂日	改訂記号	改訂内容	印	設計・監理 一級建築士事務所登録 三重県知事 1-2319	管理建築士 承認 設計 製図	津市川合公民館空調設備改修工事	No.
				株式会社 マ ッ ダ 設 計 514-0064 三重県津市長岡町800-90 TEL: 059-228-6590 FAX: 059-228-6590		年月日	M-7
					一級建築士 大臣登録 264600 松田 恭一	図面名	1/100
					空調設備 平面図 (改修)	縮尺	

空調設備撤去工事要領

1. 空調室内外機・配管の撤去処分をおこなう。
2. 各個別リモコン、制御配線を撤去する。
3. リモコン撤去後、不要箇所はカバー設置とする。
4. ドレン管は再利用のため切離し後、新設機器接続まで養生しておくこと。

(撤去) 図示記号

---	撤去配管
---	現状維持配管
---	現状配管・撤去配管切離し部分
●	撤去 個別リモコン

図中記号凡例 (リモコン撤去)

①	リモコン撤去 (設置跡再利用)
②	リモコン撤去後カバー取付

冷媒配管サイズ

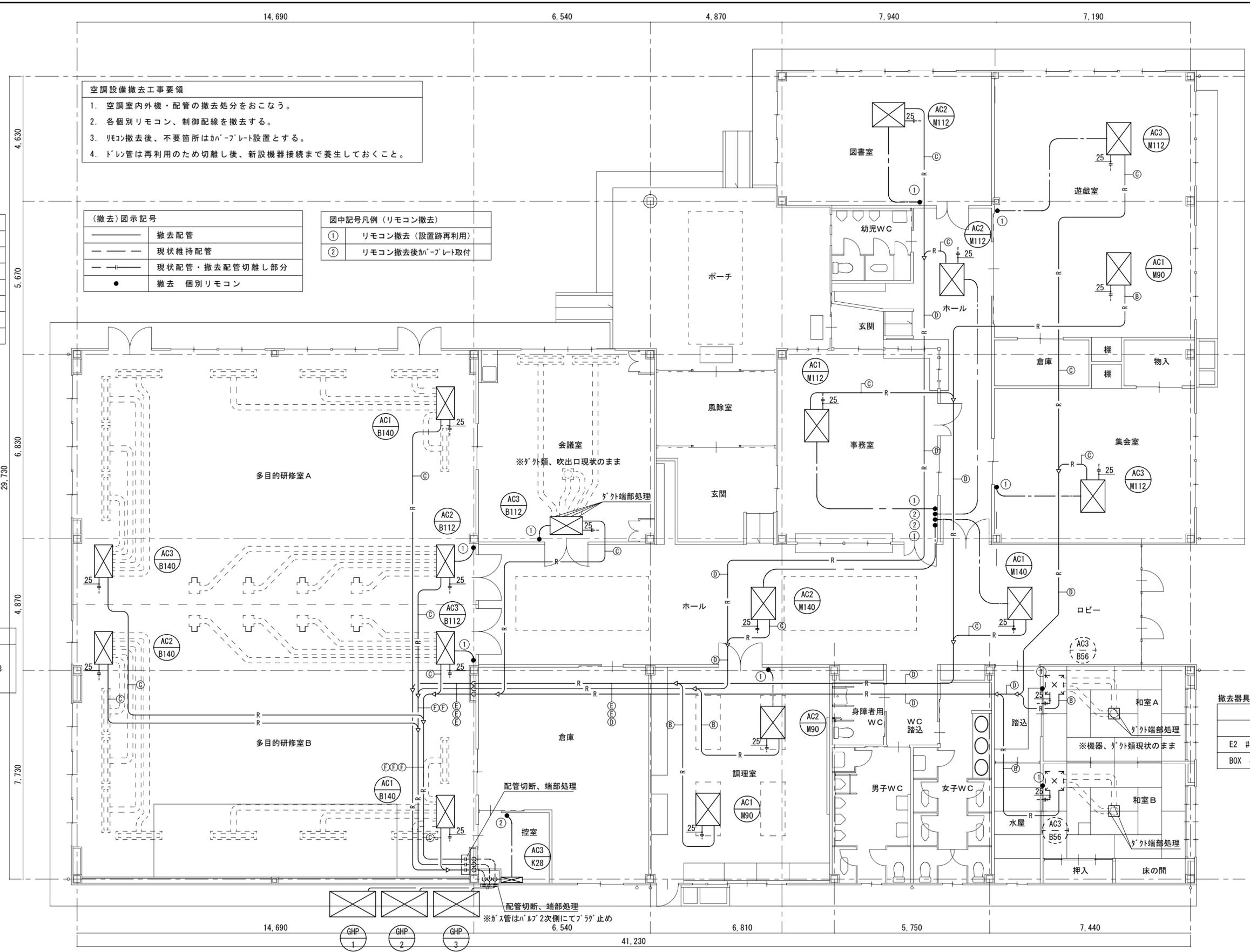
記号	液管	ガス管
A	φ 6.4	φ 12.7
B	φ 9.5	φ 15.9
C	φ 9.5	φ 19.1
D	φ 12.7	φ 25.4
E	φ 15.9	φ 31.8
F	φ 19.1	φ 31.8

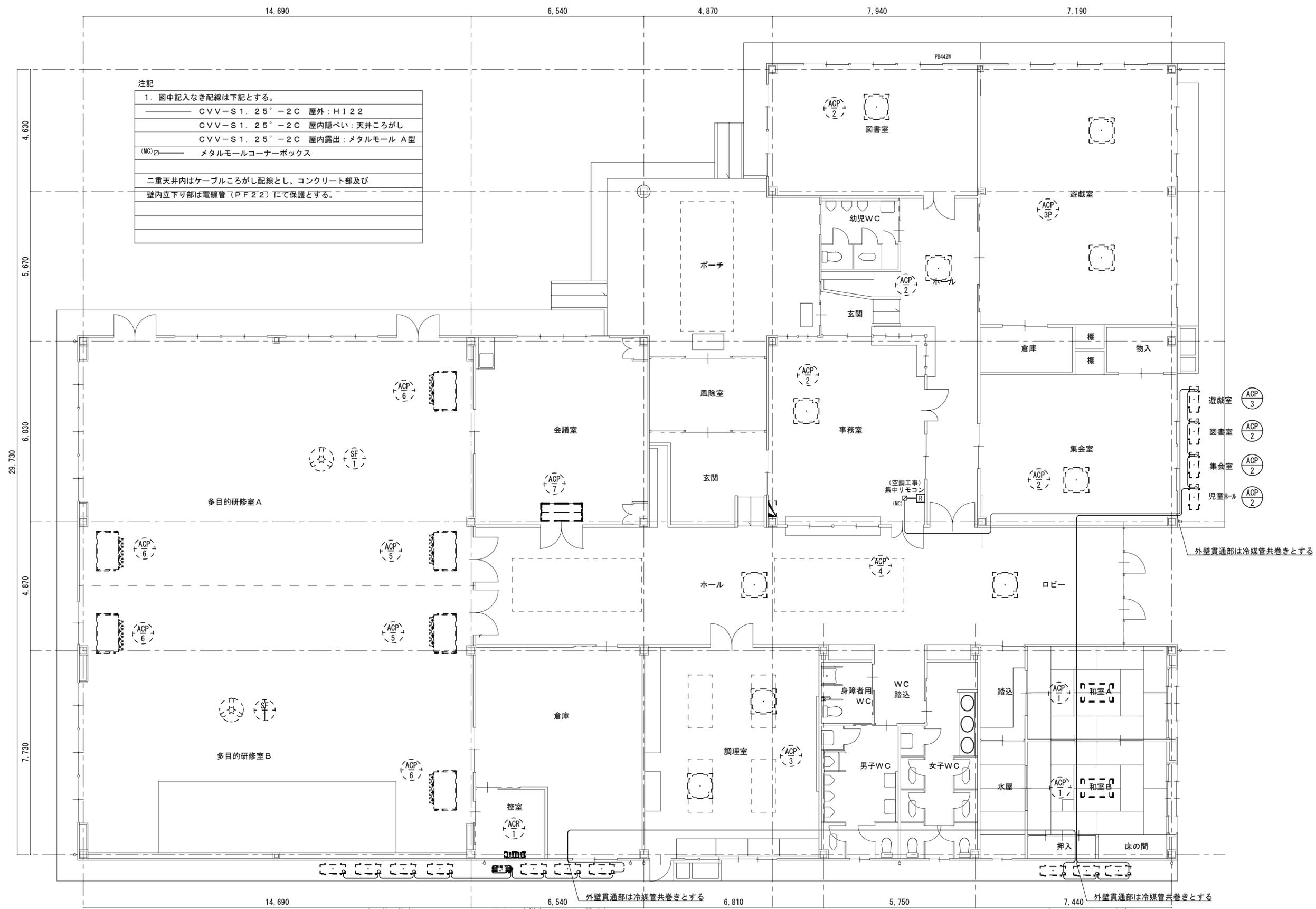
撤去器具

多目的研修室	
吹出口	8
ノズル ZN-7	
BOX 既存のまま	

撤去器具

和室	
吹出口	2
E2 #30 S付(杉板)	
BOX 400×400×400	





注記

1. 図中記入なき配線は下記とする。

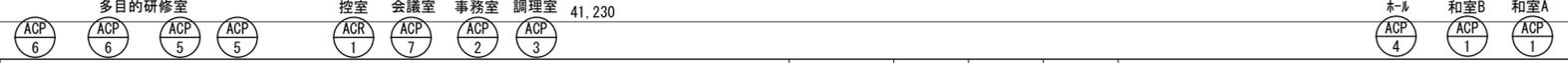
CVV-S 1.25°-2C	屋外: HI 22
CVV-S 1.25°-2C	屋内隠ぺい: 天井こがし
CVV-S 1.25°-2C	屋内露出: メタルモール A型
(MC) □	メタルモールコーナーボックス

二重天井内はケーブルこがし配線とし、コンクリート部及び壁内立下り部は電線管 (PF 22) にて保護とする。

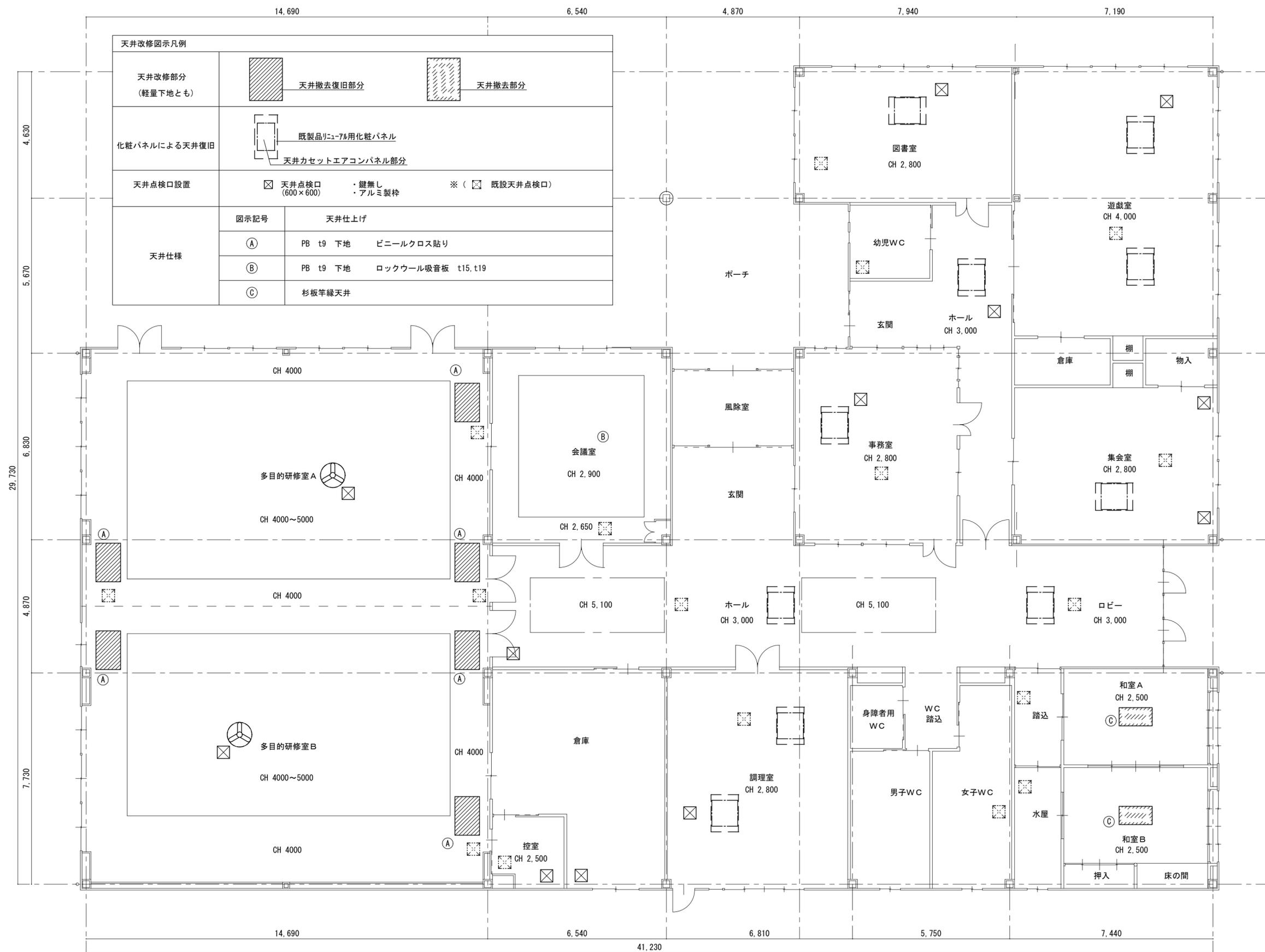
- 遊戯室 (ACP 3)
- 図書室 (ACP 2)
- 集会室 (ACP 2)
- 児童ホール (ACP 2)

外壁貫通部は冷媒管共巻きとする

外壁貫通部は冷媒管共巻きとする



改訂日	改訂記号	改訂内容	印	設計・監理 一級建築士事務所登録 三重県知事 1-2319	管理建築士 承認 設計 製 図	津市川合公民館空調設備改修工事	No.
				株式会社 マ ッ ダ 設 計 514-0064 三重県津市長岡町800-90 TEL: 059-228-6590 FAX: 059-228-6590	一級建築士 大臣登録 264600 松田 恭一	年月日	M-9
						図面名	1/100
				空調リモコン配線 平面図			縮尺



天井改修図示凡例	
天井改修部分 (軽量下地とも)	天井撤去復旧部分 天井撤去部分
化粧パネルによる天井復旧	既製品リユ-7用化粧パネル 天井カセットエアコンパネル部分
天井点検口設置	☒ 天井点検口 (600×600) ・鍵無し ・アルミ製枠 ※ (☒) 既設天井点検口
天井仕様	図示記号
	天井仕様
	天井仕様

改訂日	改訂記号	改訂内容	印	設計・監理 一級建築士事務所登録 三重県知事 1-2319	管理建築士 承認 設計 製図	津市川合公民館空調設備改修工事	年月日 1/100	No. M-11
				株式会社 マ ッ ダ 設 計 514-0064 三重県津市長岡町800-90 TEL: 059-228-6590 FAX: 059-228-6590	一級建築士 大臣登録 264600 松田 恭一			

建 物 概 要	構 造	階 数	延べ面積 (㎡)	用途区分
公民館	RC造	1階	1,027.64	1項-(ロ)
計				

4. 工事種目
 主な工事種目は、下記の○印のついたものである。

工 事 種 目	工 事 場 所	
	屋内	屋外
電力設備		
電灯設備		
動力設備	○	
雷保護設備		
接地設備		
受変電設備		○
電力貯蔵設備		
直流電源設備		
交流無停電電源設備		
電力平準化用蓄電設備		
分散電源(※1)・※2		
発電設備		
ディーゼル発電設備		
ガスエンジン発電設備		
ガスタービン発電設備		
太陽光発電設備		
風力発電設備		
その他発電設備		
通信・情報設備		
構内情報通信網設備		
構内交換設備		
情報表示設備		
映像・音響設備		
拡声設備		
誘導支援設備		
テレビ共同受信設備		
テレビ電波障害防除設備		
監視カメラ設備		
駐車場管制設備		
防犯・入退室管理設備		
自動火災報知設備		
自動閉鎖設備		
非常警報設備		
ガス漏れ火災警報設備		
中央監視制御設備		
医療関係設備		
構内配電線路		
構内通信線路		
その他		

- II. 共通仕様
- 適用
 図面及び特記仕様書に記載されていない事項については下記による。(最新のものを用いる)
 ・国土交通省大臣官房官庁庁舎整備部監修「公共建築工事標準仕様書」(建築工事編・電気設備工事編・機械設備工事編)
 ・国土交通省大臣官房官庁庁舎整備部監修「公共建築設備工事標準図」(電気設備工事編・機械設備工事編)
 ・国土交通省大臣官房官庁庁舎整備部監修「公共建築改修工事標準仕様書」(電気設備工事監理指針)
 ・国土交通省大臣官房官庁庁舎整備部監修「公共建築改修工事標準仕様書」(建築工事編・電気設備工事編・機械設備工事編)
 ・国土交通省大臣官房官庁庁舎整備部監修「公共建築改修工事標準仕様書」(電気設備工事監理指針)
 ・国土交通省大臣官房官庁庁舎整備部監修「公共建築改修工事標準仕様書」(建築工事編・電気設備工事編・機械設備工事編)
 ・電気設備に関する技術基準を定める省令(電気設備技術基準)
 ・電気工事業の業務の適正化に関する法律
 ・電気工事法
 ・労働安全衛生法
 ・消防関連法規(条例・所轄指導要領を含む。)
 ・電力会社供給約款
 ・その他関連法令、関連諸基準

2. 一般共通事項
 下記の該当する項目を適用する。また、特記事項において選択する事項は、●印のついたものを適用する。

項 目	特 記 事 項
1. 一般事項	(1) 工事の詳細については、本設計図面及び仕様書による他、上記各施工基準に準拠し監督員指示の下に入念かつ誠実に施工すること。 (2) 設計図書に定められた内容、現場の納まり、取り合い等の不明な点や施工上の困難、不都合、図面上の誤記及び記載漏れ等に起因する問題点及び疑義、設計図書のとおり施工することで将来不具合が発生しうると予想される場合については、その都度、監督員と協議すること。 なお、設計図書のとおり施工であっても使用上の不具合が発生した場合は、協議のうえ改善策を講じること。 (3) 他工事との取合いについては予め当該工事関係者において協議し、円滑な工事進捗に努めること。 なお、調整不足による差支的な仕上がり不備や不具合が発生した場合は、監督員の指示により手直し施工を行うこと。
2. 施工中の安全確保及び環境保全	低騒音型、低振動型の建設機械の使用に努めること。
3. 足場	設置する足場については、「手すり先行工法等に関するガイドライン」(厚生労働省 平成21年4月)により、「働きやすい安心感のある足場に関する基準」に適合する手すり、中さん及び組み木の機能を有する足場とし、足場の組立て、解体又は変更の作業は、「手すり先行工法等による足場の組立て等に関する基準」の2の(2)手すり設置方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行うこと。
4. 三重県産業廃棄物税	本工事は産業廃棄物税相当分が計上されていないため、受注者が課税対象となった場合には完成年度の翌年度の4月1日から8月31日までの間に三重県産業廃棄物税支払請求書に産業廃棄物税納付証明書を添付して当該工事の発注者に対して支払請求を行うことができる。 なお、この期間を超えて請求することはできない。 また、産業廃棄物処理量計表(マニフェストの数量の集計)を超えて請求することはできない。
5. 電気工作物の種類	・一般電気工作物 ●自家用電気工作物 ・事業用電気工作物
6. 電気工事士	電気工事士の区分により施工するものとし、契約電力が500kV以上の電気工作物においても、第一種電気工事士により施工するものとする。
7. 有資格者の配置	(1) 消防設備の工事に従事する者は、当該設備に関する甲種消防設備士の資格を有する者とする。 (2) 電話設備、その他施工に資格が必要なものについては、関係法令に基づいた有資格者を配置し、施工するものとする。
8. 電気工事業の業務の適正化に関する法律	電気工事の施工場所ごとに、その見やすい場所に、氏名又は名称、登録番号その他の経済産業省令で定める事項を記載した標識を掲げなければならない。
9. 電気主任技術者との調整	工事着手から引き渡しまでの期間は、受注者が電気事業法で定める電気主任技術者を委任すること。
10. 現場事務所等に備え付ける図書	下記の図書(最新版のもの)を備え付ける。 ① 国土交通省大臣官房官庁庁舎整備部監修「公共建築工事標準仕様書」(建築工事編・電気設備工事編・機械設備工事編) ② 国土交通省大臣官房官庁庁舎整備部監修「公共建築設備工事標準図」(電気設備工事編・機械設備工事編) ③ 国土交通省大臣官房官庁庁舎整備部監修「公共建築改修工事標準仕様書」(建築工事編・電気設備工事編・機械設備工事編) ④ 国土交通省大臣官房官庁庁舎整備部監修「建築工事監理指針」、「電気設備工事監理指針」、「機械設備工事監理指針」 ⑤ 工事写真の撮影方法―建築設備編― ⑥ その他、監督員の指示する図書及び工事の容量計算等に必要図書
11. 施工計画等	受注者は施工に先立ち、次の書類を提出し監督員と打合せを行う。 なお、書類の作成においては、関連する関係者と十分に調整すること。 ① 総合施工計画書 包含工事の場合は、電気設備工事施工計画書とする。 ② 工種別施工計画書(施工要領書) 各種工種ごとに作成し、序及び編入計画書も作成する。 ③ 施工図(プロット図、平面図、展開図、各種詳細図) 主要機器、重量機器、3kg超過吊器具類等については、固定方法、吊り方法等の詳細図を作成し、十分な耐震性能を確保する施工方法を提案すること。 ④ 新築計画書、幹線計算書等 ⑤ 照度分布図、センサ動作範囲図など
12. 品質計画	品質計画については、監督員の承諾を受けること。
13. 測定機器の校正等	試験に使用する計測器類は2年以内の校正証明書(写)又は有効期限内の精度保証書(写)等を提出する。
14. 機器類の能力等	機器類の能力、容量等(電動機出力は除く)は原則として表示された数値以上とする。
15. 工程表	関連業者間にて十分協議し実施工程表、月間工程表を作成して監督員に提出すること。 なお、月間工程表には埋設・隠蔽・高所等の施工確認項目の該当時期を印すること。
16. 工事写真	當務工事写真撮影要領(平成28年版)に従い撮影すること。
17. 施工条件	監督員及び関係部局と協議調整し決定すること。 1) 施工可能日 ・指定なし ・一部指定あり(振動・騒音等作業、重機搬入等入退場、停電作業等) ●指定あり 指定日(・施設の休業日 ●打ち合わせによる ・その他()) 2) 施工可能時間帯 ・指定なし ・一部指定あり(振動・騒音等作業、重機搬入等入退場、停電作業等) ●指定あり 指定時間(・()時～()時 ●打ち合わせによる ・その他()) 3) 概成工期 ・適用する(工事期日より()日前) ・適用しない() 4) その他()
18. 事故の発生時	工事施工中に事故が発生した場合には直ちに監督員に通報するとともに、所定の様式により工事事故報告書を監督員が指示する期日までに、監督員に提出しなければならない。 なお、事故発生後の措置について監督員と協議を行うとともに、当該事故に係る状況地検調査、検証等に協力すること。
19. 建設副産物	(1) 賄負額1億円以上の工事について、再生資源の利用又は建設副産物の搬出がある場合、受注者は工事の着手までに「再生資源利用計画書」(建設資材を搬入する場合)及び「再生資源利用促進計画書」(建設副産物を搬出する場合)を施工計画書に綴じ込んで監督員に提出する。 また、工事が変更又は完了した場合には「再生資源利用実施書」(建設資材を搬入した場合)及び「再生資源利用促進実施書」(建設副産物を搬出した場合)を作成し、監督員に提出する。 なお、計画書及び実施書の提出とともにJACOICが運営する「建築副産物情報交換システム」へのデータ入力も併せて行う。 (2) 賄負額1億円以上の工事について、「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」に従い、再資源化等が完了した後に報告書を提出すること。

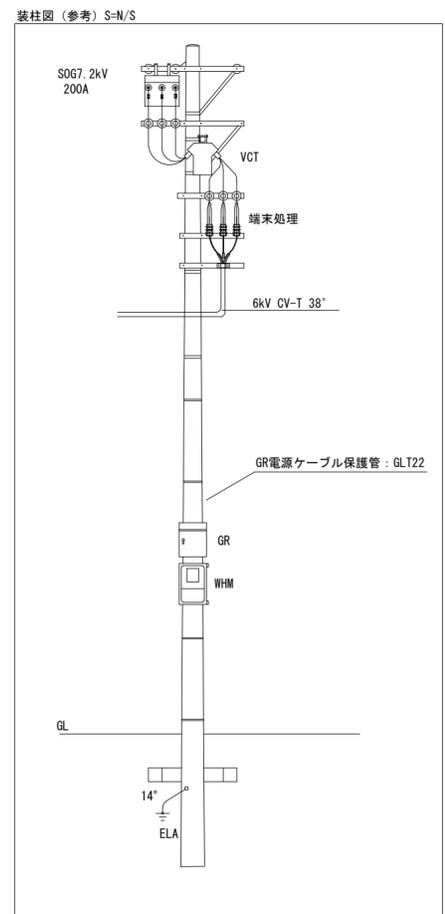
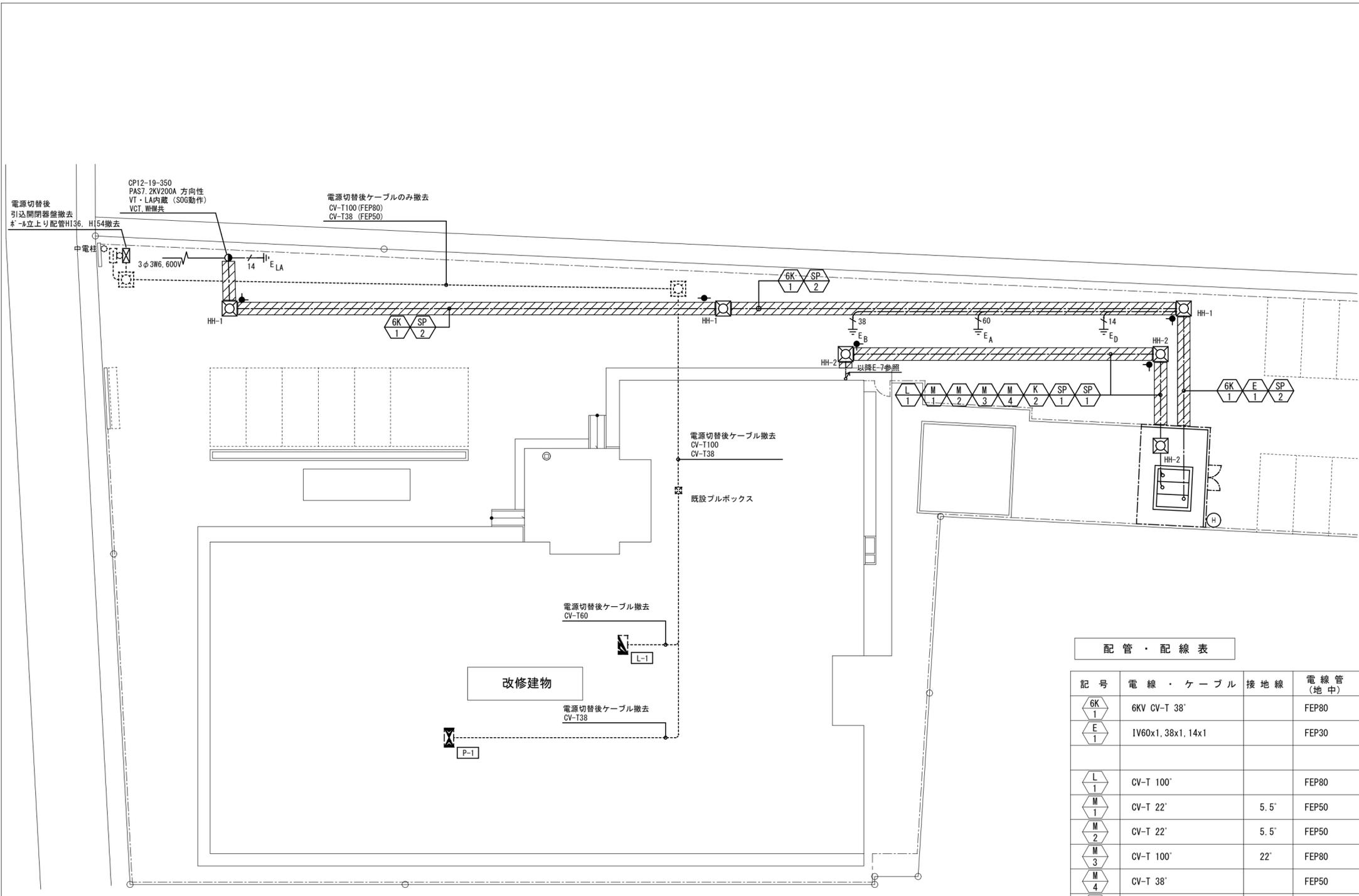
- 発生材の処理等
 (1) 引き渡しを要するもの()
 (記以外の引き渡しを要するものについては別途、監督員が指示する。)
 (2) 特別管理産業廃棄物
 ・変圧器 ・コンデンサ
 ・その他()
 現場内の監督員の指定する場所へ保管するものとする。
 対応を協議するものとする。
 (3) 現場内において再利用を図るもの
 ・発生土
 ・その他()
 (4) 再資源化を図るもの
 ・コンクリート塊 ・アスファルトコンクリート塊 ・建設発生木材
 (5) 発生者へ引き渡すものについては「現場発生品調査」を提出すること。
 また、再利用を図るものについても調査を作成し、監督員へ提出すること。
 (6) 引き渡しを要しないものは、全て構外に搬出し、建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律、再生資源の利用の促進に関する法律、産業物の処理及び清掃に関する法律、その他関係法令に従い適正に処理し、監督員に報告すること。(マニフェストA、B2、D、E票を提示すること。)
- 官公署への手続き
 工事の着手、着工、完成にあたり、関係官公署への必要な届出、手続き等を滞りなく行う。
 なお、当該手続きに係る費用は受注者の負担とする。
 ・消防設備関係 ●電気工作物関係 ●受電関係 ・通信関係 ・建設工事関係 ・その他()
- 消防法関係の手続き
 (1) 消火器に係る消防用設備等設置届出書の作成
 ●火災工事 ●電気設備工事 ・機械設備工事 ・別途工事
 (2) 対対象物使用開始届出書の作成(電気設備図面の作成及び電気室に関する部分の記入)を行うこと。
 構内への設置 ・できる(施設管理者と協議) ・できない
- 工事用仮設物
 (1) 本工事に必要な工事用電力、水等の費用は受注者の負担とする。
 (2) 本工事で新規受電または既設電気回路に接続し、送電した時から工事の範囲の電力料金も本工事に含まれる。また、本受電後、引渡しまでの電気主任技術者の設定及びこれに伴う費用負担も本工事に含まれる。
- 工事中等の保安管理
 新築、増築等で自家用電気工作物の範囲が変更になった場合、工事着手から引渡しまでの電気保安管理等にかかる費用は本工事に含まれる。
- 搬入計画
 大型機器、重量物等の搬入前に、搬入経路の有効寸法(扉、天井高さ、搬入経路上の曲がり等)、障害物(足場等)、養生方法、運送車両、揚重機械、搬入機械の種類、台数及び数量、雨天の場合の処置、受入検査の方法等を記載し監督員に提出する。
- 製品確認
 発注者及び受注者の協議により仕様を決定し、製作するような規格品でない製品並びに監督員が指定する製品については、試験及び検査等を行う機器が製作された施設内において、監督員等が製品の確認をするものとする。
- 機材等の検査及び試験
 検査及び試験を行うべき機材等は、設計図書によるほか、監督員の指示による。
- 完成確認及び完成検査時の電源確保
 機器の動作確認、電圧、極性、相回転確認できるように電源を確保すること。
- 完成時の操作説明
 タイマ、総合盤、動力盤等操作の必要な機器については、使用開始前に操作説明を行うものとする。また、必要に応じて操作説明書、操作注意事項書を作成し、機側に備えるものとする。
- 不正軽油の使用の禁止
 市工場の施工に当たり、工事現場で使用し、又は使用させる車両(資機材の搬入車両を含む。)並びに建設機械等の燃料として、不正軽油(地方税法第144条の32(製造等の承認を受ける義務等)の規定に違反する燃料をいう。)を使用してはならない。
 受注者は、市が使用燃料の採油調査を行う場合には、その調査に協力しなければならない。また、受注者は下請負者等に同調査に協力するよう管理及び監督しなければならない。
 受注者は、不正軽油の使用が判明した場合は、速やかに是正措置を講じなければならない。また、受注者は下請負者等に不正軽油の使用が判明した場合は速やかに是正措置を講じよう管理及び監督しなければならない。
- その他
 設計図書に定められていない事項は監督員に報告し、指示を受けるものとする。

2. 施工仕様
 下記の該当する項目を適用する。また、特記事項において選択する事項は、●印のついたものを適用する。

項 目	特 記 事 項				
1. 既設設備等の調査	既設設備等の改修を含む場合、他の設備、施設運営に影響をきたさないよう、現地工事着工前に充分な調査を行うこと。 (1) 地中埋設配管路 1) 項 目 ●埋設配管 ・構造物 ・その他() 2) 調査範囲 ●埋設ルート ・その他() (2) 真通及びはつり 1) 項 目 ・鉄筋 ・配管 ・その他() 2) 調査範囲 ・施工部分 ・その他() (3) 建設との取合い 1) 項 目 ●接続箇所 ・増設箇所 ・その他() 2) 調査範囲 ●施工部分 ・その他()				
2. 施工前の測定等	改修工事にあたっては、工事範囲の既設機器の動作確認及び絶縁測定等を着工前に先行し、監督員に報告すること。				
3. 耐震施工	(1) 想定される地震に対応するものとする。 (2) 耐震計算書を監督員に提出するものとする。				
4. 耐震基準	(1) 適用 耐震措置の計算及び施工方法は、最新版の「官庁施設の総合耐震計画基準及び同解説」(建設大臣官房官庁庁舎整備部監修)及び「建設設備耐震設計・施工指針」(独立行政法人建築研究所監修)による。 (2) 設計用水平地震力 機器の重量に、設計用水平震度を乗じたものとする。 なお、特記な基準、設計用水平震度は次のよう。 設計用標準水平震度(Ks)				
	耐震安全性の分類				
	特定の施設				
	一般の施設				
	重要機器				
	一般機器				
	重要機器				
	一般機器				
上階階、屋上及び屋根	機器	2.0	1.5	1.5	1.0
	防振支持の機器	2.0	2.0	2.0	1.5
	水櫃類	2.0	1.5	1.5	1.0
中間階	機器	1.5	1.0	1.0	0.6
	防振支持の機器	1.5	1.5	1.5	1.0
	水櫃類	1.5	1.0	1.0	0.6
1階及び地下階	機器	1.0	0.6	0.6	0.4
	防振支持の機器	1.0	1.0	1.0	0.6
	水櫃類	1.5	1.0	1.0	0.6
5. はつり	(1) 穴開け及び補修 ・なし ●あり (2) 溝はつり及び補修 ・なし ●あり				
6. あと施工アンカー	性能確認試験及び施工確認試験 ・行う ・行わない				
7. 基礎の配線ビット	基礎に配線ビットを設ける場合、ビットの寸法は敷設するケーブルの曲げ半径、条数、将来増設時の作業性、事故時の対応、排水等に配慮する。				
8. 配管・配線の耐震処置	建物引込部の配管の耐震処置 ・行う ・行わない 建物のエキスパンションジョイント部の配線の耐震処置 ・行う ・行わない				
9. 最上階の埋込配管	最上階のコンクリート屋根スラブへの埋込配管は、原則として行わない。				
10. 露出配管	(1) 雨外れなど水気のある場所に施設する場合は、U字配管を行わない。 (2) 壁面配管で人が容易に触れるおそれのある部分(2m以下)の配管には、突起のない支持金物又は保護カバーを使用する。 (3) 道路部分では床配管を避け、天井配管の場合は原則2.1m以上とする。 (4) 監督員の指示がある場合は、上記に係わらずその指示に従う。				
11. 合成樹脂管	(1) 合成樹脂管の管端には、プッシングを取り付ける。 (2) 原則として屋外の露出には使用しない。(P F管)				
12. 金属製電線管等の塗装	(1) 露出配管、露出ボックス、鋼製プルボックス等のうち下記の部分には、塗装を施す。 ① 屋外、屋内(電気室、機械室、E P S、居室、廊下)その他建築意匠上必要な箇所。 (2) 図面に特記なき場合は、溶融亜鉛メッキ鋼材製のポール及びアームは塗装しなくてもよい。ただし、図面に特記がある場合はその指示による。 ③ 湿気、水気のある場所及びコンクリート埋込みの金属製位置ボックスの内面には絶縁性防錆塗料を十分に塗布すること。(監督員が指示した場所は除く。) ④ 仮体貫通部の金属配管には禁止の塗装を施すこと。 (2) 塗装はエッチングプライマー1種の下地処理のうえ、監督員の指定する色にて割合ペイント2回塗りとする。ただし、指定場所及びその他建築意匠上、必要な箇所の露出プルボックスは指定色焼付塗装とする。				
13. 導入線	通線を行わない配管及び配線引き抜き後に空となった配管には、導入線(φ1.2mm以上の樹脂被覆鉄線等)を挿入する。ただし、長さ1m以下の部分は省略することができる。				
14. ボックス類	位置ボックス及びジョイントボックス類は、図面に特記なき場合、原則として金属製とする。				
15. 軽量間仕切のボックス	軽量間仕切に位置ボックスを固定する場合は、ボルト等により堅固に固定する。				
16. プルボックス	(1) 屋外形及び特別に製作された特殊形状又は大きいもの(一辺が600mm以上のもの)は、製作図を提出すること。 (2) 屋外形プルボックスと露出配管等の接続部は、カップリング溶接等による。ただし、既設プルボックスに接続する場合は防水パテ等でシーリングを行う。 (3) 屋外形プルボックスはボックス内に支持ボルトが突出しない構造とし、取付部にはコーキングを行う。				
17. ボルト・ナット類	屋外に使用する支持金物及びボルト、ナット類で特記のないもの ●ステンレス ・溶融亜鉛メッキ仕上げ				
18. ケーブル及び配線	(1) 表示 下記の箇所で、ケーブル等に行き先等表示札(ケーブル種別及びサイズ、行き先、用途等を表示。)を取り付ける。 ① ケーブル分岐部分 ② プルボックス内 ③ マンホール及びハンドホールごと (2) ケーブル余長 1) 地中線式の場合、マンホール、ハンドホール内でケーブル余長を見込む箇所数 ・2箇所 ・4箇所 ② 箇所 2) 架空線式の場合、電柱上でケーブル余長を見込む箇所数 ・2箇所 ・()箇所				
19. 高圧ケーブル端処理	高圧ケーブルの端処理部、直線接続部等に処理用銘板(屋内外共で、線名、作業日、氏名等を表示。)を取り付ける。				

<p>20. 配線器具の設置</p> <p>(1) 特殊コンセントはプラグ付とする。 (2) 電源の種類により色を区別する。 (3) 配線器具を取り付ける場所が金属の場合は、絶縁材を使用する。 (4) プレートは、図面に特記なき場合は、新金属とする。 (5) カバープレートは、原則として新金属とする。 なお、器具を実装しない位置ボックスには用途表示をすること。 (6) フロアプレートは、水平高低調整型(空転防止リング付)とする。</p>	<p>3. 機器仕様 下記の該当する項目を適用する。また、特記事項において選択する事項は、●印のついたものを適用する。 なお、詳細については、図面による。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>特記事項</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>【電力設備】</td> <td></td> </tr> <tr> <td>1. 電灯設備</td> <td>(1) 既設等との取り扱い ●無し ●壁改造 ●配線接続 ●電源供給 ●その他() (2) 機器類 ●一般照明器具 ●照明制御装置 ●外灯(単独設置) ●コンセント等 ●分電盤、制御盤等 ●その他() (3) 一般照明器具 1) 形式 ●公共型 ●一般型 2) 灯具 ●H F蛍光灯 ●LED灯 ●HID灯 ●その他() 3) 用途 ●屋内用 ●屋外用 ●防災用 4) 環境 ●普通地域 ●塩害地域 5) 照明器具は、認証書又は認定書、試験成績書を提出すること。 6) 蛍光灯の点灯管がクローランプを使用するものは、電子点灯管に交換するものとする。 7) HIDランプを使用する二面開放形器具及びランプの破損による飛散により怪我をする恐れのある場合は、飛散防止を施したランプとする。</td> </tr> <tr> <td>(4) 照明制御装置</td> <td>1) センサ類 ●明るさセンサ ●人感センサ ●タイマ ●調光スイッチ 2) 調光方式 ●連続調光 ●段階調光 ●ON/OFF制御 ●その他()</td> </tr> <tr> <td>(5) 外灯(単独設置)</td> <td>1) 照明用ポール ①材質 ●アルミニウム製 ●鋼製 ●溶融亜鉛メッキ ●その他() ②配線用遮断器又はカットアウトスイッチ内蔵型とする。 2) 基礎 ●本工事 ●別途工事 ●既設利用 ●その他() 3) 灯具 ●水銀灯 ●ナトリウム灯 ●H F蛍光灯 ●LED灯 ●その他() 4) 安定器 ●一般形高力率形(BH) ●低効電流形 ●その他() 5) 電源 ●商用電源(60Hz)(・200V・100V) ●単独電源(点灯時間) ●風車式 ●その他(点灯時間) ()時間、不日照保証日数()日 6) 制御 ●ヒエススイッチ ●タイマ ●その他() 7) 接地 ●単独接地 ●本工事 ●別途工事 ●既設利用 ●共用 ●その他()</td> </tr> <tr> <td>(6) コンセント等</td> <td>●一般型 ●防水型 ●ハイテンションアウトレット(●固定型 ●上下動型(アプ式を含む))</td> </tr> <tr> <td>(7) 分電盤、制御盤等</td> <td>1) 銘板には、公共建築工事標準仕様書(電気設備工編)に定める事項に加えて、施工年月、受注者名、施工者名を記載する。 2) 図面ホルダーは、A4サイズ以上(キャビネットのサイズ等により取付けできない場合を除く。)とする。 3) 表示ランプ等がある場合は、ランプテストボタンを取付ける。 4) 接地用端子又は接地線用銅帯は点検のしやすい場所に設ける。 5) 絶縁抵抗測定用接地端子は室内の作業のしやすい場所に設ける。 6) 配線用遮断器の定格電流は、予備を含めた負荷電流以上とし、定格遮断容量は、系統に流れる短絡電流の値以上とする。 7) 電流計は赤指針付(定格電流指示)とする。</td> </tr> <tr> <td>2. 動力設備</td> <td>(1) 既設との取り扱い ●無し ●壁改造 ●配線接続 ●その他() (2) 機器類 ●分電盤、制御盤等 ●その他() (3) 負荷設備 ●給水 ●排水 ●消火 ●空調 ●換気 ●排煙 ●昇降機 ●その他() (4) 負荷設備への接続 図面に特記明示がない場合、負荷設備への接続は本工事とする。 (5) 電動機等の接地 ●専用接地 ●金属管接地(7.5kW以下) (6) 電動機等の力率の改善 本工事に含む制御盤には各負荷に力率改善コンデンサを取り付ける。 (7) 保護継電器 過負荷、欠相、逆相継電器は熱動式とする。 (8) 分電盤、制御盤等 1) 銘板には、公共建築工事標準仕様書(電気設備工編)に定める事項に加えて、施工年月、受注者名、施工者名を記載する。 2) 図面ホルダーは、A4サイズ以上(キャビネットのサイズ等により取付けできない場合を除く。)とする。 3) 表示ランプ等がある場合は、ランプテストボタンを取付ける。 4) 接地用端子又は接地線用銅帯は点検のしやすい場所に設ける。 5) 絶縁抵抗測定用接地端子は室内の作業のしやすい場所に設ける。 6) 配線用遮断器の定格電流は、予備を含めた負荷電流以上とし、定格遮断容量は、系統に流れる短絡電流の値以上とする。 7) 電流計は赤指針付(定格電流指示)とする。</td> </tr> <tr> <td>3. 雷保護設備</td> <td>(1) 避雷針 1) 受雷部 ●突針 ●棟上導体 ●笠木等の別途施工物 2) 避雷導線 ●引下げ導線 ●建築構造体利用 3) 接地極 ●接地極埋設 ●建築構造体利用 ●測定用補助接地極 4) 接地抵抗の測定 ① 測定方法 ●電位差計方式 ●電圧降下法 ② 測定回数 ●3回 ●()回 5) 接地極埋設様を設置する。 (2) 雷サージ保護 1) 耐雷トランス ●設置(●単相用 ●動力用) ●設置しない 2) SPD ●低圧用(●クラスI ●クラスII) ●通信用(●カテゴリC2 ●カテゴリD1) 3) 低圧用SPDクラスIの性能 別図による 4) 通信用SPDカテゴリD1の性能 別図による (3) 電源回路の保護 1) 低圧用SPDに使用する配線用遮断器は警報地点付とする。 2) 主幹機器の2次側に設ける場合の配線用遮断器は、定格遮断容量5kA以上とする。 (4) 通信回線の保護 電話回線、制御回線などの通信回線に侵入するおそれがある場所は、雷サージから機器を保護するため通信用SPDを設置する。 4. 接地設備 (1) 接地工事 1) 種別 ●A種 ●B種 ●C種 ●D種 2) 施工 ●各種単独 ●共有有り() (2) 接地抵抗の測定 1) 測定方法 ●電位差計方式 ●電圧降下法 2) 測定回数 ●3回 ●()回 (3) 接地極埋設様 接地には接地極埋設様を施工し、接地極の位置がわかるようにする。 【受変電設備】 5. 受変電設備 (1) 既設との取り扱い ●無し ●改造(機器取替、追加等を含む) ●増設 ●配線接続 ●その他() (2) 機器類 ●整流 ●交流遮断器 ●断路器 ●避雷器 ●負荷開閉器 ●変圧器 ●進相コンデンサ ●直列リアクトル ●配線用遮断器 ●配線接触器 ●その他() (3) 盤類 1) 形式 ●キュービクル式配電盤(JIS C 4620) ●高圧スイッチギア(JEM 1425)(●CX ●CW ●PW ●MW) ●開放形配電盤 ●その他() 2) 中通路 ●有 ●無 3) 特記事項 () (4) 交流遮断器 真空遮断器(VCB) ① 操作方式 ●手動ばね操作 ●電動ばね操作 ●電磁操作 ② 引外し方式 ●電動引外し ●コンデンサ引外し ●直流電圧引外し</td> </tr> </tbody> </table>	項目	特記事項	【電力設備】		1. 電灯設備	(1) 既設等との取り扱い ●無し ●壁改造 ●配線接続 ●電源供給 ●その他() (2) 機器類 ●一般照明器具 ●照明制御装置 ●外灯(単独設置) ●コンセント等 ●分電盤、制御盤等 ●その他() (3) 一般照明器具 1) 形式 ●公共型 ●一般型 2) 灯具 ●H F蛍光灯 ●LED灯 ●HID灯 ●その他() 3) 用途 ●屋内用 ●屋外用 ●防災用 4) 環境 ●普通地域 ●塩害地域 5) 照明器具は、認証書又は認定書、試験成績書を提出すること。 6) 蛍光灯の点灯管がクローランプを使用するものは、電子点灯管に交換するものとする。 7) HIDランプを使用する二面開放形器具及びランプの破損による飛散により怪我をする恐れのある場合は、飛散防止を施したランプとする。	(4) 照明制御装置	1) センサ類 ●明るさセンサ ●人感センサ ●タイマ ●調光スイッチ 2) 調光方式 ●連続調光 ●段階調光 ●ON/OFF制御 ●その他()	(5) 外灯(単独設置)	1) 照明用ポール ①材質 ●アルミニウム製 ●鋼製 ●溶融亜鉛メッキ ●その他() ②配線用遮断器又はカットアウトスイッチ内蔵型とする。 2) 基礎 ●本工事 ●別途工事 ●既設利用 ●その他() 3) 灯具 ●水銀灯 ●ナトリウム灯 ●H F蛍光灯 ●LED灯 ●その他() 4) 安定器 ●一般形高力率形(BH) ●低効電流形 ●その他() 5) 電源 ●商用電源(60Hz)(・200V・100V) ●単独電源(点灯時間) ●風車式 ●その他(点灯時間) ()時間、不日照保証日数()日 6) 制御 ●ヒエススイッチ ●タイマ ●その他() 7) 接地 ●単独接地 ●本工事 ●別途工事 ●既設利用 ●共用 ●その他()	(6) コンセント等	●一般型 ●防水型 ●ハイテンションアウトレット(●固定型 ●上下動型(アプ式を含む))	(7) 分電盤、制御盤等	1) 銘板には、公共建築工事標準仕様書(電気設備工編)に定める事項に加えて、施工年月、受注者名、施工者名を記載する。 2) 図面ホルダーは、A4サイズ以上(キャビネットのサイズ等により取付けできない場合を除く。)とする。 3) 表示ランプ等がある場合は、ランプテストボタンを取付ける。 4) 接地用端子又は接地線用銅帯は点検のしやすい場所に設ける。 5) 絶縁抵抗測定用接地端子は室内の作業のしやすい場所に設ける。 6) 配線用遮断器の定格電流は、予備を含めた負荷電流以上とし、定格遮断容量は、系統に流れる短絡電流の値以上とする。 7) 電流計は赤指針付(定格電流指示)とする。	2. 動力設備	(1) 既設との取り扱い ●無し ●壁改造 ●配線接続 ●その他() (2) 機器類 ●分電盤、制御盤等 ●その他() (3) 負荷設備 ●給水 ●排水 ●消火 ●空調 ●換気 ●排煙 ●昇降機 ●その他() (4) 負荷設備への接続 図面に特記明示がない場合、負荷設備への接続は本工事とする。 (5) 電動機等の接地 ●専用接地 ●金属管接地(7.5kW以下) (6) 電動機等の力率の改善 本工事に含む制御盤には各負荷に力率改善コンデンサを取り付ける。 (7) 保護継電器 過負荷、欠相、逆相継電器は熱動式とする。 (8) 分電盤、制御盤等 1) 銘板には、公共建築工事標準仕様書(電気設備工編)に定める事項に加えて、施工年月、受注者名、施工者名を記載する。 2) 図面ホルダーは、A4サイズ以上(キャビネットのサイズ等により取付けできない場合を除く。)とする。 3) 表示ランプ等がある場合は、ランプテストボタンを取付ける。 4) 接地用端子又は接地線用銅帯は点検のしやすい場所に設ける。 5) 絶縁抵抗測定用接地端子は室内の作業のしやすい場所に設ける。 6) 配線用遮断器の定格電流は、予備を含めた負荷電流以上とし、定格遮断容量は、系統に流れる短絡電流の値以上とする。 7) 電流計は赤指針付(定格電流指示)とする。	3. 雷保護設備	(1) 避雷針 1) 受雷部 ●突針 ●棟上導体 ●笠木等の別途施工物 2) 避雷導線 ●引下げ導線 ●建築構造体利用 3) 接地極 ●接地極埋設 ●建築構造体利用 ●測定用補助接地極 4) 接地抵抗の測定 ① 測定方法 ●電位差計方式 ●電圧降下法 ② 測定回数 ●3回 ●()回 5) 接地極埋設様を設置する。 (2) 雷サージ保護 1) 耐雷トランス ●設置(●単相用 ●動力用) ●設置しない 2) SPD ●低圧用(●クラスI ●クラスII) ●通信用(●カテゴリC2 ●カテゴリD1) 3) 低圧用SPDクラスIの性能 別図による 4) 通信用SPDカテゴリD1の性能 別図による (3) 電源回路の保護 1) 低圧用SPDに使用する配線用遮断器は警報地点付とする。 2) 主幹機器の2次側に設ける場合の配線用遮断器は、定格遮断容量5kA以上とする。 (4) 通信回線の保護 電話回線、制御回線などの通信回線に侵入するおそれがある場所は、雷サージから機器を保護するため通信用SPDを設置する。 4. 接地設備 (1) 接地工事 1) 種別 ●A種 ●B種 ●C種 ●D種 2) 施工 ●各種単独 ●共有有り() (2) 接地抵抗の測定 1) 測定方法 ●電位差計方式 ●電圧降下法 2) 測定回数 ●3回 ●()回 (3) 接地極埋設様 接地には接地極埋設様を施工し、接地極の位置がわかるようにする。 【受変電設備】 5. 受変電設備 (1) 既設との取り扱い ●無し ●改造(機器取替、追加等を含む) ●増設 ●配線接続 ●その他() (2) 機器類 ●整流 ●交流遮断器 ●断路器 ●避雷器 ●負荷開閉器 ●変圧器 ●進相コンデンサ ●直列リアクトル ●配線用遮断器 ●配線接触器 ●その他() (3) 盤類 1) 形式 ●キュービクル式配電盤(JIS C 4620) ●高圧スイッチギア(JEM 1425)(●CX ●CW ●PW ●MW) ●開放形配電盤 ●その他() 2) 中通路 ●有 ●無 3) 特記事項 () (4) 交流遮断器 真空遮断器(VCB) ① 操作方式 ●手動ばね操作 ●電動ばね操作 ●電磁操作 ② 引外し方式 ●電動引外し ●コンデンサ引外し ●直流電圧引外し	<p>(5) 断路器</p> <p>1) 形式 ●3極単投 ●単極単投(避雷器用に限る) 2) 操作方式 ●遠方手動操作 ●フック棒操作(避雷器用に限る)</p> <p>(6) 負荷開閉器</p> <p>1) 形式 ●配電盤用 ●引込柱用 ●地中引込用 2) 配電盤用 ① 操作方式 ●フック棒操作 ●遠方手動操作 ●電動操作 ② 戻りヒューズ ●有(ストライカ付) ●無 ③ 引外し装置 ●ストライカ引外し ●電圧引外し ●無 ④ 本体及び制御箱の材質 ●ステンレス製 ●鋼製 ⑤ 保護装置 ●過電流過熱トリップ付地絡方向継電器とし、制御電源用変圧器内蔵とする ⑥ 設置場所 ●屋内 ●屋外 保護装置は、過電流過熱トリップ付地絡方向継電器とし、制御電源用変圧器内蔵とする</p> <p>3) 引込柱用</p> <p>4) 地中引込用</p> <p>(7) 変圧器</p> <p>1) 形式 ●油入 ●モールド 2) 設置方式 ●屋外型 ●屋内型 3) ダイヤル温度計 ●有 ●最大値指針 有 ●最大値指針 無 ●無 油入500kVA以上、モールド150kVA以上の場合には必須とする</p> <p>(8) 進相コンデンサ</p> <p>1) 絶縁方式 ●油入 ●モールド ●ガス入 2) その他 ① 内部異常を検知して動作する保護接点を設けること ② 放電装置を別風又は内蔵すること</p> <p>(9) 直列リアクトル(進相コンデンサ用)</p> <p>1) 絶縁方式 ●油入 ●モールド ●ガス入 2) 容量 ●5% ●13% 3) その他 内部異常を検知して動作する警報接点を設けること</p> <p>(10) 設備不平衡</p> <p>(11) キュービクル等</p> <p>1) 銘板には、公共建築工事標準仕様書(電気設備工編)に定める事項に加えて、施工年月、受注者名、施工者名を記載する。 2) 図面ホルダーは、A4サイズ以上(キャビネットのサイズ等により取付けできない場合を除く。)とする。 3) 表示ランプ等がある場合は、ランプテストボタンを取付ける。 4) 接地用端子又は接地線用銅帯は点検のしやすい場所に設ける。 5) 絶縁抵抗測定用接地端子は室内の作業のしやすい場所に設ける。 6) 配線用遮断器の定格電流は、予備を含めた負荷電流以上とし、定格遮断容量は、系統に流れる短絡電流の値以上とする。</p> <p>●本工事(・2.1N/mm² ・1.8N/mm²) ●別途工事 ●既設利用 ●その他()</p> <p>1) 施工 ●本工事 ●別途工事 ●既設利用 ●その他() 2) ピット蓋の加工が必要な場合は、本工事にて行うこと。</p> <p>●屋内 ●屋外 ●地上 ●屋上</p> <p>【電力貯蔵設備】 6. 直流電源設備 (1) 用途 ●非常用照明器具電源 ●受変電設備制御電源 ●その他() (2) 容量 ()kVA (3) 整流装置 1) 出力電圧 直流(・1.2V ・2.4V ・4.8V ・()V) 2) 整流装置は、蓄電池を充電するための電流及び監視及び制御等で消費される電流を考慮して選定する。</p> <p>(4) 蓄電池 1) 種類 ●鉛蓄電池(・HS ・MSE ・長寿命形MSE) ●アルカリ蓄電池(・AH ・AMH) ●その他() 2) 最低蓄電池温度 -5℃ ・15℃ ・25℃ ・-5℃ ・()℃</p> <p>7. 交流無停電電源設備 (1) 用途 ()kVA (2) 容量 ()kVA (3) 給電方式 ●常時インバータ給電方式 ●ラインインタラクティブ方式 ●常時商用給電方式 ●その他() (4) 整流装置等 整流装置、インバータ装置は、接続する負荷の特性を配慮し選定する。 (5) 蓄電池 1) 種類 ●鉛蓄電池(・HS ・MSE ・長寿命形MSE) ●アルカリ蓄電池(・AH ・AMH) ●その他() 2) 最低蓄電池温度 -5℃ ・15℃ ・25℃ ・-5℃ ・()℃ 停電補償時間 ()</p> <p>(6) 性能 ()</p> <p>8. 電力平準化用蓄電設備 (1) 用途 () (2) 機能 ●ピークシフト機能 ●ピークカット機能 ●商用停電時のバックアップ機能 (3) 蓄電池 1) 種類 ●リチウム二次電池 ●鉛蓄電池 ●ニッケル水素蓄電池 2) 容量 () 3) 期待寿命 () 4) 充放電回数 () 5) 放電時間 () 6) 補償額 ●製造者標準 ●その他()</p> <p>(4) 性能 1) 交流入力電圧方式 ●三相3線式(・200V・()V) ●三相3線式(200/100V) ●単相2線式(・200V・100V・()V) 2) 自立運転 ●する ●しない 3) 系統連系 ●する ●しない 遠方監視用接点 ●設けない ●設ける(詳細は別図による) (6) 状態・警報表示 警報用の遠方監視用接点の搭載を必須とする。</p> <p>9. 分散電源 仕様詳細は別図による。</p> <p>【発電設備】 10. 燃料系発電設備 (1) 用途 ●防災電源専用(防災認定品) ●防災電源兼用(防災認定品) ●一般用 (2) 区分 ●常用 ●非常用 (3) 設置場所 ●屋内 ●屋外(●普通地域 ●塩害地域) (3) 機器 ●発電装置 ●燃料槽 ●給油ボックス ●燃料移送ポンプ ●その他() (4) 発電装置 1) 種類 ●ディーゼル発電装置 ●ガスエンジン発電装置 ●ガスタービン発電装置 2) 形式 ●簡易形 ●オープン式 ●キュービクル式(・8.5φ(A)/1m ●7.5φ(A)/1m) 3) 始動時間(停電後) ●1.0秒以内 ●4.0秒以内 ()秒以内 4) 連続運転時間 ●2時間以上 ●1.0時間以上 ●2.4時間以上 ●7.2時間以上 5) 発電機 ① 電圧方式 ●三相3線式(・6.6kV ●200V・()V) ●三相3線式(200/100V) ●単相2線式(・200V・100V・()V) ② 定格周波数 60Hz ③ 定格出力 ()kVA ④ 冷却方式 ●ラジエター方式 ●冷却水循環式 ●その他() ⑤ 以上 () (5) 燃料 1) 種類 ●軽油 ●灯油 ●A重油 ●その他() 2) 引渡時燃料 ●満タン ●指定なし ●その他() (6) 燃料槽 1) 形式及び容量 ●パッケージ搭載タンク()リットル ●リットル ●燃料小出槽()リットル ●主燃料槽()リットル 2) 燃料小出槽 ●屋外型(・ステンレス製 ●鋼製) ●屋内型(・ステンレス製 ●鋼製) 3) ① 設置場所 ●屋内 ●屋外(地上) ●地下埋設(・タンク室内埋設 ●直埋設) ② 形式 ●二重殻タンク ●一重殻タンク ③ 設置工事 ●その他() ④ タンク室工事 ●本工事 ●別途工事 ●既設利用 ●その他()</p> <p>(7) 給油ボックス 1) 材質 ●ステンレス製 ●鋼製 ●その他() 2) 油量指示計 ●有 ●無 (8) 燃料移送ポンプ 1) 電動ポンプ ●歯車ポンプ ●油中ポンプ 2) 手動ポンプ(ウイングポンプ) ●有 ●無 3) 電動ポンプ水没防止カバー ●有 ●無 (9) 基礎 ●本工事(・2.1N/mm² ・1.8N/mm²) ●別途工事 ●既設利用 ●その他()</p>	<p>11. 太陽発電設備 (1) 機器 ●太陽電池アレイ ●パワーコンディショナ ●系統連系保護装置 ●接続箱 (2) 太陽電池アレイ 1) 発電能力 公称出力()kW 2) 架台は、JIS S 8955「太陽電池アレイ取付特設設計標準」による。 (3) パワーコンディショナ及び系統連系保護装置 1) 出力電圧方式 ●三相3線式(・200V・()V) ●三相3線式(200/100V) ●単相2線式(・200V・100V・()V) 2) 定格周波数 60Hz 3) 設置場所 ●屋内 ●屋外 ●その他() 4) 設置方式 ●壁掛型 ●自立型 ●その他() 5) 機能 ●系統連系(・高圧連系 ●みなし低圧連系 ●低圧連系) ●自立運転 ●その他() 6) 系統連系技術要件は、関係法令や技術基準等を遵守し、電気事業者と十分協議する。 (4) 情報処理装置 1) 装置 ●データ処理装置 ●データ表示装置 ●気温計 ●日射計 ●その他() 2) 記録作成 ●日報 ●月報 ●年報 ●その他() 仕様詳細は「太陽発電設備特記仕様書」による。 (5) 仕様詳細 仕様詳細は「太陽発電設備特記仕様書」による。</p> <p>12. 風力発電設備 (1) 機器 ●風車発電装置 ●制御装置 ●系統連系保護装置 ●支持構造物 ●情報処理装置 ●その他() (2) 風車発電装置 発電能力 定格出力()kW (3) 制御盤 1) 出力電圧方式 ●三相3線式(・200V・()V) ●三相3線式(200/100V) ●単相2線式(・200V・100V・()V) 2) 定格周波数 60Hz 3) 設置場所 ●屋内 ●屋外 ●その他() 4) 設置方式 ●壁掛型 ●自立型 ●その他() 5) 機能 ●系統連系(・高圧連系 ●みなし低圧連系 ●低圧連系) ●自立運転 ●その他() 6) 系統連系技術要件は、関係法令や技術基準等を遵守し、電気事業者と十分協議する。 (4) 支持構造物 (5) 情報処理装置 1) 装置 ●データ処理装置 ●データ表示装置 ●風速計 ●風向計 ●気温計 ●その他() 2) 記録作成 ●日報 ●月報 ●年報 ●その他() 仕様詳細は「風力発電設備特記仕様書」による。 (6) 仕様詳細 仕様詳細は別図による。</p> <p>13. その他発電設備 ()の仕様詳細は別図による。</p> <p>【通信・情報設備】 14. 構内情報通信設備 (1) インターフェース 1) LAN ●1000BASE-T ●無線LAN () ●その他() 2) WAN () (2) 機器 ●スイッチ ●ルータ ●メディアコンバータ ●ファイアウォール ●時刻同期装置 ●ネットワーク管理装置 ●機器収納ラック ●アウトレット ●その他() 各機器の仕様詳細は別図による。 (3) ケーブル 1) 幹線系 ●UTP ●光ファイバ ●その他() 2) 支線系 ●UTP ●光ファイバ ●その他() 3) フロア系 ●UTP ●その他() (4) アウトレット ●ローテーションアウトレット(●固定型 ●上下動型(アプ式を含む)) ●壁コンセント ●その他()</p> <p>15. 構内交換設備 (1) 機器 ●交換装置 ●電話機 ●端子盤類 ●アウトレット ●その他() (2) 交換装置 1) 種別 ●構内交換装置(・デジタルPBX ●IP-PBX ●VoIPサーバ) ●その他() ●ボタン電話装置 ●その他() 2) 局線応答方式 ●局線中継台方式 ●分散中継台方式 ●ダイヤルイン方式 ●ダイレクトインダイヤル方式 ●ダイレクトインライン方式 ●その他() 3) 保安用接地 ●本工事 ●既設利用 ●その他() 4) 本配電室(MDF) ●自立フレーム(・片面形 ●両面形) ●交換機一体型 ●壁掛型 5) 電源装置 ① 形式 ●別置型 ●その他() ② 停電補償時間 ●3分以上 ●()以上</p> <p>(3) 電話機 ●一般電話機 ●多機能電話機 ●IP電話機 ●デジタルコードレス電話機(PHS方式) ●IPコードレス電話機(無線LAN方式) ●その他()</p> <p>(4) 端子盤類 1) 端子盤 ●中継端子盤(IDF) ●室内端子盤 2) 中継端子盤には実装数の20%以上、室内端子盤には10P以上の接続端子板スペースを見込む。 (5) アウトレット ●ローテーションアウトレット(●固定型 ●上下動型(アプ式を含む)) ●壁コンセント ●その他()</p> <p>16. 情報表示設備 (1) 設備 ●マルチサイン装置 ●出退表示装置 ●時刻表示装置 ●警報等表示装置 (2) マルチサイン装置 1) 機器 ●操作制御部 ●情報表示器 ●その他() 2) 通信方式 ●TCP/IP ●その他() 3) 操作制御部 ●メーガスキャナ ●有 ●無 4) 情報表示器 ●発光ダイオード式 ●液晶式 ●その他() (3) 出退表示装置 1) 機器 ●制御装置 ●出退表示器 ●その他() 2) 出退表示器 ●発光ダイオード式 ●液晶式 ●その他() (4) 時刻表示装置 1) 機器 ●親時計 ●子時計 ●電源装置 ●単独時計 ●その他() 2) 親時計 ① 形式 ●壁掛型 ●自立型 ●ラックマウント型(ラック架組込) ●FM放送受信(・アナログ設置 ●既設利用) ●長波標準電波受信(・アンテナ設置) ●回線数 ()回線 ④ 機能 ●電子チャイム()曲 ●時報 ●プログラムタイム(引渡し時は機器の説明及びプログラムの入力を行うこと) ●アラロク式 ●デジタル式 3) 子時計 ① 方式 ●アラロク式 ●デジタル式 ●その他() ② 設置場所 ●屋内 ●屋外 ●その他() ③ 時刻補正機能 ●有 ●無 4) 電源装置 運転可能時間(・10時間・()時間) 5) 単独時計 ① 方式 ●アラロク式 ●デジタル式 ●その他() ② 設置場所 ●屋内 ●屋外 ●その他() ③ 時刻補正機能 ●有 ●無 (5) 警報等表示装置 1) 機器 ●表示器 ●検出装置 ●その他() 2) 表示器 ① 表示方式 ●表示窓式 ●その他() ② 施工 ●本工事 ●別途工事 ●既設利用 ●その他() 3) 検出装置 ① 検出方式 ●電圧 ●電圧接点 ●その他() ② 施工 ●本工事 ●別途工事 ●既設利用 ●その他() 4) 図面に特記明示がない場合、検出装置への接続は本工事とする。</p>
項目	特記事項																				
【電力設備】																					
1. 電灯設備	(1) 既設等との取り扱い ●無し ●壁改造 ●配線接続 ●電源供給 ●その他() (2) 機器類 ●一般照明器具 ●照明制御装置 ●外灯(単独設置) ●コンセント等 ●分電盤、制御盤等 ●その他() (3) 一般照明器具 1) 形式 ●公共型 ●一般型 2) 灯具 ●H F蛍光灯 ●LED灯 ●HID灯 ●その他() 3) 用途 ●屋内用 ●屋外用 ●防災用 4) 環境 ●普通地域 ●塩害地域 5) 照明器具は、認証書又は認定書、試験成績書を提出すること。 6) 蛍光灯の点灯管がクローランプを使用するものは、電子点灯管に交換するものとする。 7) HIDランプを使用する二面開放形器具及びランプの破損による飛散により怪我をする恐れのある場合は、飛散防止を施したランプとする。																				
(4) 照明制御装置	1) センサ類 ●明るさセンサ ●人感センサ ●タイマ ●調光スイッチ 2) 調光方式 ●連続調光 ●段階調光 ●ON/OFF制御 ●その他()																				
(5) 外灯(単独設置)	1) 照明用ポール ①材質 ●アルミニウム製 ●鋼製 ●溶融亜鉛メッキ ●その他() ②配線用遮断器又はカットアウトスイッチ内蔵型とする。 2) 基礎 ●本工事 ●別途工事 ●既設利用 ●その他() 3) 灯具 ●水銀灯 ●ナトリウム灯 ●H F蛍光灯 ●LED灯 ●その他() 4) 安定器 ●一般形高力率形(BH) ●低効電流形 ●その他() 5) 電源 ●商用電源(60Hz)(・200V・100V) ●単独電源(点灯時間) ●風車式 ●その他(点灯時間) ()時間、不日照保証日数()日 6) 制御 ●ヒエススイッチ ●タイマ ●その他() 7) 接地 ●単独接地 ●本工事 ●別途工事 ●既設利用 ●共用 ●その他()																				
(6) コンセント等	●一般型 ●防水型 ●ハイテンションアウトレット(●固定型 ●上下動型(アプ式を含む))																				
(7) 分電盤、制御盤等	1) 銘板には、公共建築工事標準仕様書(電気設備工編)に定める事項に加えて、施工年月、受注者名、施工者名を記載する。 2) 図面ホルダーは、A4サイズ以上(キャビネットのサイズ等により取付けできない場合を除く。)とする。 3) 表示ランプ等がある場合は、ランプテストボタンを取付ける。 4) 接地用端子又は接地線用銅帯は点検のしやすい場所に設ける。 5) 絶縁抵抗測定用接地端子は室内の作業のしやすい場所に設ける。 6) 配線用遮断器の定格電流は、予備を含めた負荷電流以上とし、定格遮断容量は、系統に流れる短絡電流の値以上とする。 7) 電流計は赤指針付(定格電流指示)とする。																				
2. 動力設備	(1) 既設との取り扱い ●無し ●壁改造 ●配線接続 ●その他() (2) 機器類 ●分電盤、制御盤等 ●その他() (3) 負荷設備 ●給水 ●排水 ●消火 ●空調 ●換気 ●排煙 ●昇降機 ●その他() (4) 負荷設備への接続 図面に特記明示がない場合、負荷設備への接続は本工事とする。 (5) 電動機等の接地 ●専用接地 ●金属管接地(7.5kW以下) (6) 電動機等の力率の改善 本工事に含む制御盤には各負荷に力率改善コンデンサを取り付ける。 (7) 保護継電器 過負荷、欠相、逆相継電器は熱動式とする。 (8) 分電盤、制御盤等 1) 銘板には、公共建築工事標準仕様書(電気設備工編)に定める事項に加えて、施工年月、受注者名、施工者名を記載する。 2) 図面ホルダーは、A4サイズ以上(キャビネットのサイズ等により取付けできない場合を除く。)とする。 3) 表示ランプ等がある場合は、ランプテストボタンを取付ける。 4) 接地用端子又は接地線用銅帯は点検のしやすい場所に設ける。 5) 絶縁抵抗測定用接地端子は室内の作業のしやすい場所に設ける。 6) 配線用遮断器の定格電流は、予備を含めた負荷電流以上とし、定格遮断容量は、系統に流れる短絡電流の値以上とする。 7) 電流計は赤指針付(定格電流指示)とする。																				
3. 雷保護設備	(1) 避雷針 1) 受雷部 ●突針 ●棟上導体 ●笠木等の別途施工物 2) 避雷導線 ●引下げ導線 ●建築構造体利用 3) 接地極 ●接地極埋設 ●建築構造体利用 ●測定用補助接地極 4) 接地抵抗の測定 ① 測定方法 ●電位差計方式 ●電圧降下法 ② 測定回数 ●3回 ●()回 5) 接地極埋設様を設置する。 (2) 雷サージ保護 1) 耐雷トランス ●設置(●単相用 ●動力用) ●設置しない 2) SPD ●低圧用(●クラスI ●クラスII) ●通信用(●カテゴリC2 ●カテゴリD1) 3) 低圧用SPDクラスIの性能 別図による 4) 通信用SPDカテゴリD1の性能 別図による (3) 電源回路の保護 1) 低圧用SPDに使用する配線用遮断器は警報地点付とする。 2) 主幹機器の2次側に設ける場合の配線用遮断器は、定格遮断容量5kA以上とする。 (4) 通信回線の保護 電話回線、制御回線などの通信回線に侵入するおそれがある場所は、雷サージから機器を保護するため通信用SPDを設置する。 4. 接地設備 (1) 接地工事 1) 種別 ●A種 ●B種 ●C種 ●D種 2) 施工 ●各種単独 ●共有有り() (2) 接地抵抗の測定 1) 測定方法 ●電位差計方式 ●電圧降下法 2) 測定回数 ●3回 ●()回 (3) 接地極埋設様 接地には接地極埋設様を施工し、接地極の位置がわかるようにする。 【受変電設備】 5. 受変電設備 (1) 既設との取り扱い ●無し ●改造(機器取替、追加等を含む) ●増設 ●配線接続 ●その他() (2) 機器類 ●整流 ●交流遮断器 ●断路器 ●避雷器 ●負荷開閉器 ●変圧器 ●進相コンデンサ ●直列リアクトル ●配線用遮断器 ●配線接触器 ●その他() (3) 盤類 1) 形式 ●キュービクル式配電盤(JIS C 4620) ●高圧スイッチギア(JEM 1425)(●CX ●CW ●PW ●MW) ●開放形配電盤 ●その他() 2) 中通路 ●有 ●無 3) 特記事項 () (4) 交流遮断器 真空遮断器(VCB) ① 操作方式 ●手動ばね操作 ●電動ばね操作 ●電磁操作 ② 引外し方式 ●電動引外し ●コンデンサ引外し ●直流電圧引外し																				
<p>改訂日</p> <p>改訂記号</p> <p>改訂内容</p> <p>印</p>	<p>設計・監理 一級建築士事務所登録 三重県知事 1-2319</p> <p>株式会社 マ ツ ダ 設計</p> <p>514-0064 三重県津市長岡町800-90 TEL : 059-228-6590 FAX : 059-228-6590</p>	<p>管理建築士 承認 設計 製図</p> <p>一級建築士 大臣登録 264600 松田 恭一</p>	<p>津市川合公民館空調設備改修工事</p> <p>図面名</p> <p>電気設備工事特記仕様書 2</p>	<p>No.</p> <p>年月日</p> <p>E-2</p> <p>縮尺</p> <p>原図</p> <p>A2</p>																	

<p>17. 映像・音響設備</p> <p>(1)設備</p> <p>(2)映像機器</p> <p>1) 表示機器</p> <p>2) 付属機器</p> <p>(3)音響機器</p> <p>1) 増幅器</p> <p>2) 付属機器</p> <p>(4)操作装置</p> <p>18. 拡声設備</p> <p>(1)機器</p> <p>(2)増幅器</p> <p>(3)付属機器</p> <p>(4)操作装置</p> <p>(5)スピーカ</p> <p>19. 誘導支援設備</p> <p>(1)設備</p> <p>(2)音声誘導装置</p> <p>(3)インターホン</p> <p>(4)トイレ等呼出装置</p> <p>20. テレビ共同受信設備</p> <p>(1)受信放送</p> <p>(2)機器</p> <p>(3)アンテナ</p> <p>21. テレビ電波障害防除設備</p> <p>(1)対象戸数</p> <p>(2)機器</p> <p>(3)アンテナ</p> <p>22. 監視カメラ設備</p> <p>(1)機器</p> <p>(2)伝送方式</p> <p>(3)カメラ</p> <p>(4)モニタ装置</p> <p>(5)録画装置</p>	<p>23. 駐車管理設備</p> <p>(1)機器</p> <p>(2)管制盤</p> <p>(3)検知器</p> <p>(4)信号灯・警報灯</p> <p>(5)発券機</p> <p>(6)カーゲート</p> <p>24. 防犯・入退室管理設備</p> <p>(1)設備</p> <p>(2)防犯装置</p> <p>(3)入退室管理装置</p> <p>25. 自動火災報知設備</p> <p>(1)機器</p> <p>(2)受信機</p> <p>(3)副受信機(表示装置)</p> <p>(4)中継器</p> <p>(5)発信機</p> <p>(6)感知器</p> <p>26. 自動閉鎖設備</p> <p>(1)機器</p> <p>(2)運動制御器</p> <p>(3)感知器</p> <p>(4)自動閉鎖装置</p> <p>(5)自動閉鎖装置</p> <p>27. 非常警報設備</p> <p>(1)設備</p> <p>(2)非常放送装置</p> <p>28. ガス漏れ火災警報設備</p> <p>(1)機器</p> <p>(2)受信機</p> <p>(3)副受信機</p> <p>(4)検知器</p>	<p>【中央監視制御設備】</p> <p>29. 中央監視制御設備</p> <p>(1)監視制御対象設備</p> <p>(2)既設との取り合い</p> <p>(3)機器</p> <p>(4)機能</p> <p>(5)監視操作装置</p> <p>(6)信号処理装置</p> <p>(7)記録装置</p> <p>【医療関係設備】</p> <p>30. 非接地電源用分電盤</p> <p>(1)機器</p> <p>(2)仕様詳細</p> <p>31. ナースコール設備</p> <p>(1)形式</p> <p>(2)仕様詳細</p> <p>【構内配電線路】</p> <p>(1)配線方式</p> <p>(2)建柱</p> <p>(3)装柱機器(高圧用)</p> <p>(4)装柱機器(低圧用)</p> <p>(5)ハンドホール、マンホール</p> <p>(6)鉄線蓋</p> <p>(7)地中ケーブル保護材料</p> <p>【構内通信線路】</p> <p>33. 構内通信線路</p> <p>(1)用途</p> <p>(2)配線方式</p> <p>(3)建柱</p> <p>(4)ハンドホール、マンホール</p> <p>(5)鉄線蓋</p> <p>(6)地中ケーブル保護材料</p> <p>【その他】</p> <p>34. 消火器</p>	<p>Ⅲ. 機器標準取付高さ標準的な高さであり、詳細については監督員と協議する。(○印はバリアフリー対応)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>名 称</th> <th>側 点</th> <th>取付高さ (mm)</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">電力</td> <td>接地端子盤</td> <td>床上～下端</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>取引用計器</td> <td>地上～窓中心</td> <td>1,800～2,000</td> <td></td> </tr> <tr> <td>引込開閉器</td> <td>床上～中心</td> <td>1,800～2,000</td> <td></td> </tr> <tr> <td>分電盤</td> <td>床上～中心</td> <td>1,500</td> <td>上端1,900mm</td> </tr> <tr> <td>スイッチ</td> <td>床上～中心</td> <td>1,300</td> <td>○1,000mm</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">電灯</td> <td>コンセント(一般)</td> <td>床上～中心</td> <td>300</td> <td></td> </tr> <tr> <td>コンセント(和室)</td> <td>床上～中心</td> <td>200</td> <td></td> </tr> <tr> <td>コンセント(台上)</td> <td>床上～中心</td> <td>150</td> <td></td> </tr> <tr> <td>コンセント(WP)</td> <td>床上～中心</td> <td>1,000</td> <td></td> </tr> <tr> <td>コンセント(地下)</td> <td>床上～中心</td> <td>1,000</td> <td></td> </tr> <tr> <td>コンセント(土間)</td> <td>床上～中心</td> <td>500</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ブラケット(一般)</td> <td>床上～中心</td> <td>2,100～2,300</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ブラケット(鏡上)</td> <td>鏡上端～中心</td> <td>150</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ブラケット(処理場)</td> <td>床上～中心</td> <td>2,500</td> <td></td> </tr> <tr> <td>動力</td> <td>壁掛型制御盤</td> <td>床上～中心</td> <td>1,500</td> <td>上端1,900mm</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">電話</td> <td>端子盤</td> <td>床上～下端</td> <td>300</td> <td></td> </tr> <tr> <td>保安器盤</td> <td>床上～中心</td> <td>2,000</td> <td></td> </tr> <tr> <td>壁位置ボックス</td> <td>床上～中心</td> <td>300</td> <td></td> </tr> <tr> <td>壁位置ボックス(和室)</td> <td>床上～中心</td> <td>200</td> <td></td> </tr> <tr> <td>壁位置ボックス(和室)</td> <td>床上～中心</td> <td>200</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">時計・拡声</td> <td>壁掛型時計</td> <td>床上～中心</td> <td>1,500</td> <td>上端1,900mm</td> </tr> <tr> <td>子時計</td> <td>床上～中心</td> <td>2,300</td> <td></td> </tr> <tr> <td>壁掛型スピーカ</td> <td>床上～中心</td> <td>2,300</td> <td>2,500mm</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">表示</td> <td>アッテネータ</td> <td>床上～中心</td> <td>1,300</td> <td></td> </tr> <tr> <td>表示器</td> <td>床上～中心</td> <td>2,300</td> <td></td> </tr> <tr> <td>壁付発信器</td> <td>床上～中心</td> <td>1,300</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="5">インターホン</td> <td>ベル・ブザー・チャイム</td> <td>床上～中心</td> <td>2,300</td> <td></td> </tr> <tr> <td>壁付インターホン</td> <td>床上～中心</td> <td>1,300</td> <td></td> </tr> <tr> <td>壁位置ボックス</td> <td>床上～中心</td> <td>300</td> <td></td> </tr> <tr> <td>壁位置ボックス(和室)</td> <td>床上～中心</td> <td>200</td> <td></td> </tr> <tr> <td>子機(身障者用)</td> <td>床上～中心</td> <td>1,100</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">テレビ</td> <td>機器収容箱</td> <td>床上～中心</td> <td>2,000</td> <td></td> </tr> <tr> <td>直列ユニット</td> <td>床上～中心</td> <td>300</td> <td></td> </tr> <tr> <td>直列ユニット(和室)</td> <td>床上～中心</td> <td>200</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">火災報知</td> <td>受信機・副受信機</td> <td>床上～中心</td> <td>1,500</td> <td></td> </tr> <tr> <td>発信器</td> <td>床上～中心</td> <td>1,300</td> <td></td> </tr> <tr> <td>表示灯</td> <td>床上～中心</td> <td>1,800</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>ベル</td> <td>床上～中心</td> <td>2,300</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>参考資料：高齢者が居住する住宅の設計に係る指針(最終改正 平成21年国土省告示第906号)ユニバーサルデザインのまちづくり推進条例 整備基準の解説等(平成25年4月 三重県)</p>		名 称	側 点	取付高さ (mm)	備 考	電力	接地端子盤	床上～下端			取引用計器	地上～窓中心	1,800～2,000		引込開閉器	床上～中心	1,800～2,000		分電盤	床上～中心	1,500	上端1,900mm	スイッチ	床上～中心	1,300	○1,000mm	電灯	コンセント(一般)	床上～中心	300		コンセント(和室)	床上～中心	200		コンセント(台上)	床上～中心	150		コンセント(WP)	床上～中心	1,000		コンセント(地下)	床上～中心	1,000		コンセント(土間)	床上～中心	500		ブラケット(一般)	床上～中心	2,100～2,300		ブラケット(鏡上)	鏡上端～中心	150		ブラケット(処理場)	床上～中心	2,500		動力	壁掛型制御盤	床上～中心	1,500	上端1,900mm	電話	端子盤	床上～下端	300		保安器盤	床上～中心	2,000		壁位置ボックス	床上～中心	300		壁位置ボックス(和室)	床上～中心	200		壁位置ボックス(和室)	床上～中心	200		時計・拡声	壁掛型時計	床上～中心	1,500	上端1,900mm	子時計	床上～中心	2,300		壁掛型スピーカ	床上～中心	2,300	2,500mm	表示	アッテネータ	床上～中心	1,300		表示器	床上～中心	2,300		壁付発信器	床上～中心	1,300		インターホン	ベル・ブザー・チャイム	床上～中心	2,300		壁付インターホン	床上～中心	1,300		壁位置ボックス	床上～中心	300		壁位置ボックス(和室)	床上～中心	200		子機(身障者用)	床上～中心	1,100		テレビ	機器収容箱	床上～中心	2,000		直列ユニット	床上～中心	300		直列ユニット(和室)	床上～中心	200		火災報知	受信機・副受信機	床上～中心	1,500		発信器	床上～中心	1,300		表示灯	床上～中心	1,800			ベル	床上～中心	2,300	
	名 称	側 点	取付高さ (mm)	備 考																																																																																																																																																																						
電力	接地端子盤	床上～下端																																																																																																																																																																								
	取引用計器	地上～窓中心	1,800～2,000																																																																																																																																																																							
	引込開閉器	床上～中心	1,800～2,000																																																																																																																																																																							
	分電盤	床上～中心	1,500	上端1,900mm																																																																																																																																																																						
	スイッチ	床上～中心	1,300	○1,000mm																																																																																																																																																																						
電灯	コンセント(一般)	床上～中心	300																																																																																																																																																																							
	コンセント(和室)	床上～中心	200																																																																																																																																																																							
	コンセント(台上)	床上～中心	150																																																																																																																																																																							
	コンセント(WP)	床上～中心	1,000																																																																																																																																																																							
	コンセント(地下)	床上～中心	1,000																																																																																																																																																																							
	コンセント(土間)	床上～中心	500																																																																																																																																																																							
	ブラケット(一般)	床上～中心	2,100～2,300																																																																																																																																																																							
	ブラケット(鏡上)	鏡上端～中心	150																																																																																																																																																																							
	ブラケット(処理場)	床上～中心	2,500																																																																																																																																																																							
	動力	壁掛型制御盤	床上～中心	1,500	上端1,900mm																																																																																																																																																																					
電話	端子盤	床上～下端	300																																																																																																																																																																							
	保安器盤	床上～中心	2,000																																																																																																																																																																							
	壁位置ボックス	床上～中心	300																																																																																																																																																																							
	壁位置ボックス(和室)	床上～中心	200																																																																																																																																																																							
	壁位置ボックス(和室)	床上～中心	200																																																																																																																																																																							
時計・拡声	壁掛型時計	床上～中心	1,500	上端1,900mm																																																																																																																																																																						
	子時計	床上～中心	2,300																																																																																																																																																																							
	壁掛型スピーカ	床上～中心	2,300	2,500mm																																																																																																																																																																						
表示	アッテネータ	床上～中心	1,300																																																																																																																																																																							
	表示器	床上～中心	2,300																																																																																																																																																																							
	壁付発信器	床上～中心	1,300																																																																																																																																																																							
インターホン	ベル・ブザー・チャイム	床上～中心	2,300																																																																																																																																																																							
	壁付インターホン	床上～中心	1,300																																																																																																																																																																							
	壁位置ボックス	床上～中心	300																																																																																																																																																																							
	壁位置ボックス(和室)	床上～中心	200																																																																																																																																																																							
	子機(身障者用)	床上～中心	1,100																																																																																																																																																																							
テレビ	機器収容箱	床上～中心	2,000																																																																																																																																																																							
	直列ユニット	床上～中心	300																																																																																																																																																																							
	直列ユニット(和室)	床上～中心	200																																																																																																																																																																							
火災報知	受信機・副受信機	床上～中心	1,500																																																																																																																																																																							
	発信器	床上～中心	1,300																																																																																																																																																																							
	表示灯	床上～中心	1,800																																																																																																																																																																							
	ベル	床上～中心	2,300																																																																																																																																																																							



配置図 1/200

注記

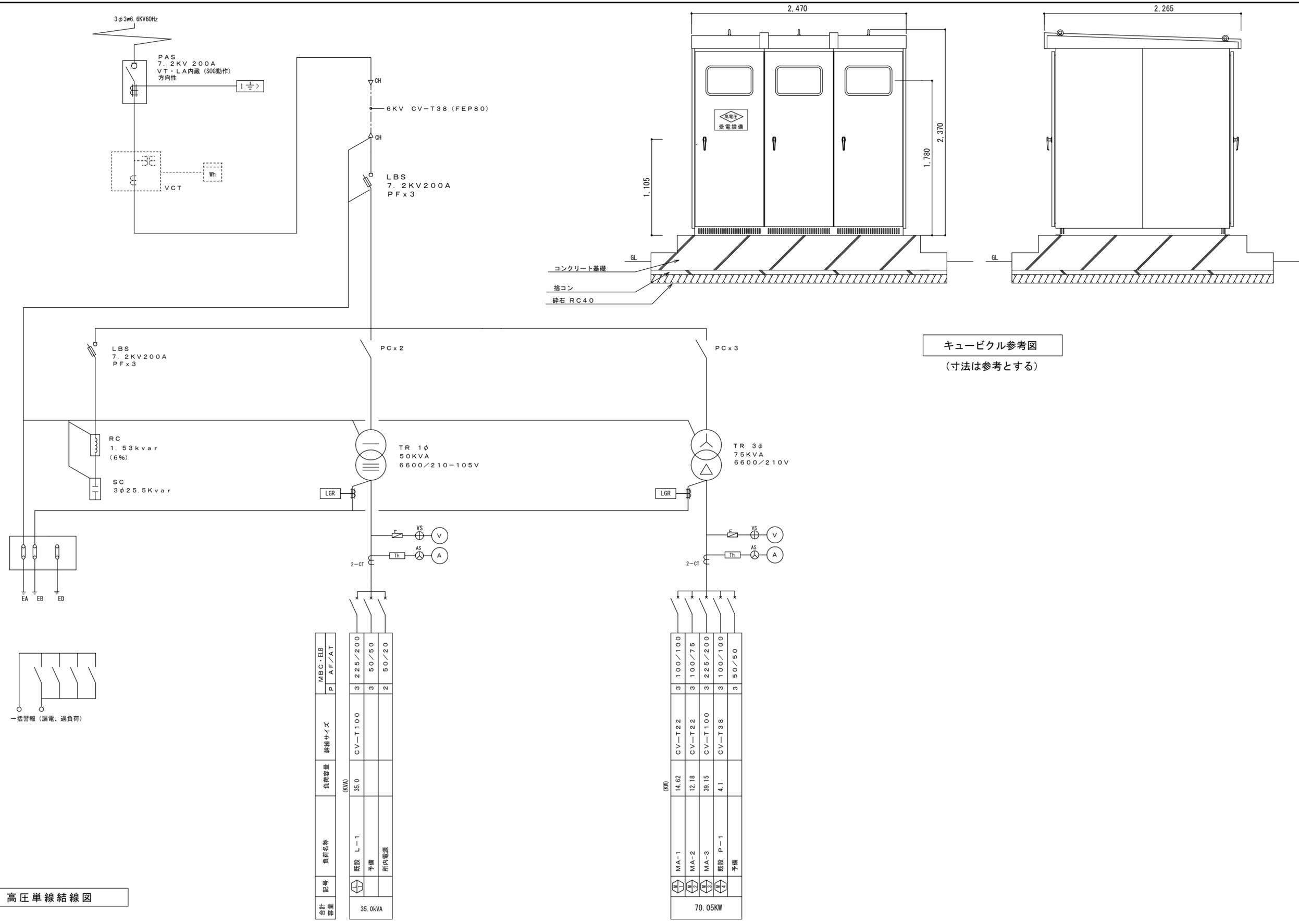
埋設管路には埋設表示シートを敷設すること。
 埋設管路部はアスファルト舗装撤去、復旧のこと。
 HH-1~H.H 600x600x600 S8K-60
 HH-2~H.H 600x600x900 S8K-60 (セパレータ付)
 ● 埋設表示杭 (鉄製) を示す。

アスファルト舗装 (A-5-15) 解体補修を示す

配管・配線表

記号	電線・ケーブル	接地線	電線管 (地中)	電線管 (屋外)	負荷名	備考
	6KV CV-T 38'		FEP80	GLT70		高压引込
	IV60x1, 38x1, 14x1		FEP30			EA, EB, ED, ELA
	CV-T 100'		FEP80	G70	既設 L-1	二重天井内ころがし配線
	CV-T 22'	5.5'	FEP50	G42	MA-1	二重天井内ころがし配線
	CV-T 22'	5.5'	FEP50	G42	MA-2	二重天井内ころがし配線
	CV-T 100'	22'	FEP80	G70	MA-3	二重天井内ころがし配線
	CV-T 38'		FEP50	G42	既設 P-1	二重天井内ころがし配線
	CVW2'-2C		FEP30	G22	警報	二重天井内ころがし配線
			FEP50			予備
			FEP80	GLT70		予備

印は、ABC粉末消火器新設箇所を示す
 (10型 屋外ステンレス製格納箱 屋根脚付共)

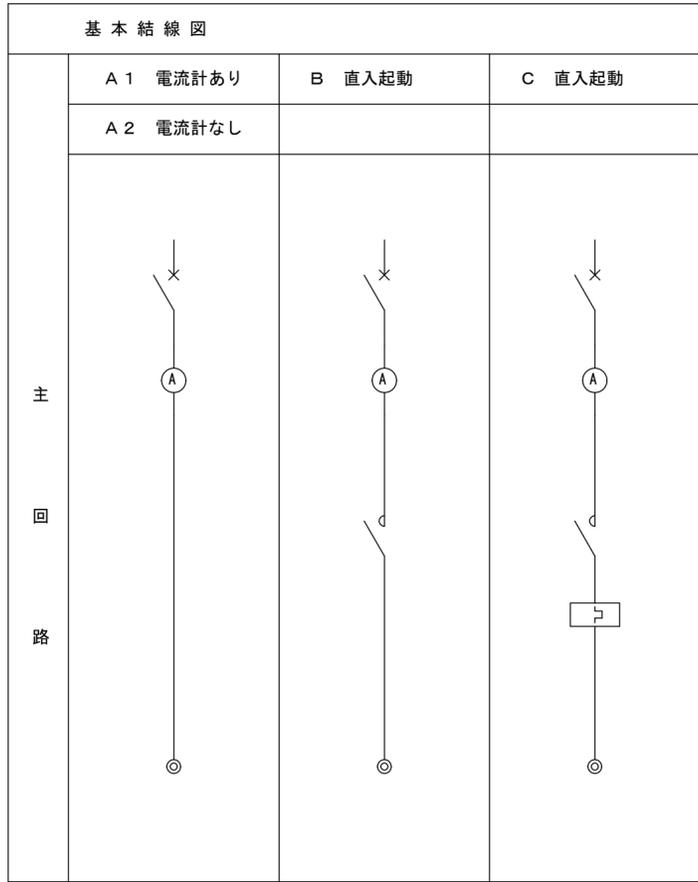


高圧単線結線図

配号	負荷名称	負荷容量 (KVA)	幹線サイズ	MBC・ELB P A F / A T
1	既設 L-1	35.0	CV-T100	3 225/200
2	予備			3 50/50
3	所内電源			2 50/20
全社容量 35.0KVA				

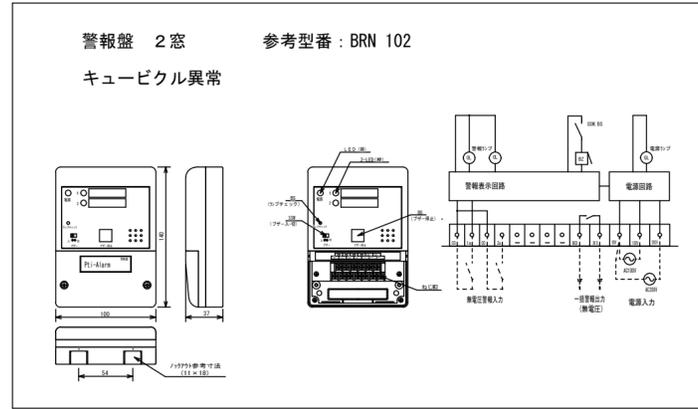
配号	負荷名称	負荷容量 (KW)	幹線サイズ	MBC・ELB P A F / A T
1	MA-1	14.62	CV-T22	3 100/100
2	MA-2	12.18	CV-T22	3 100/75
3	MA-3	39.15	CV-T100	3 225/200
4	既設 P-1	4.1	CV-T98	3 100/100
5	予備			3 50/50
70.05KW				

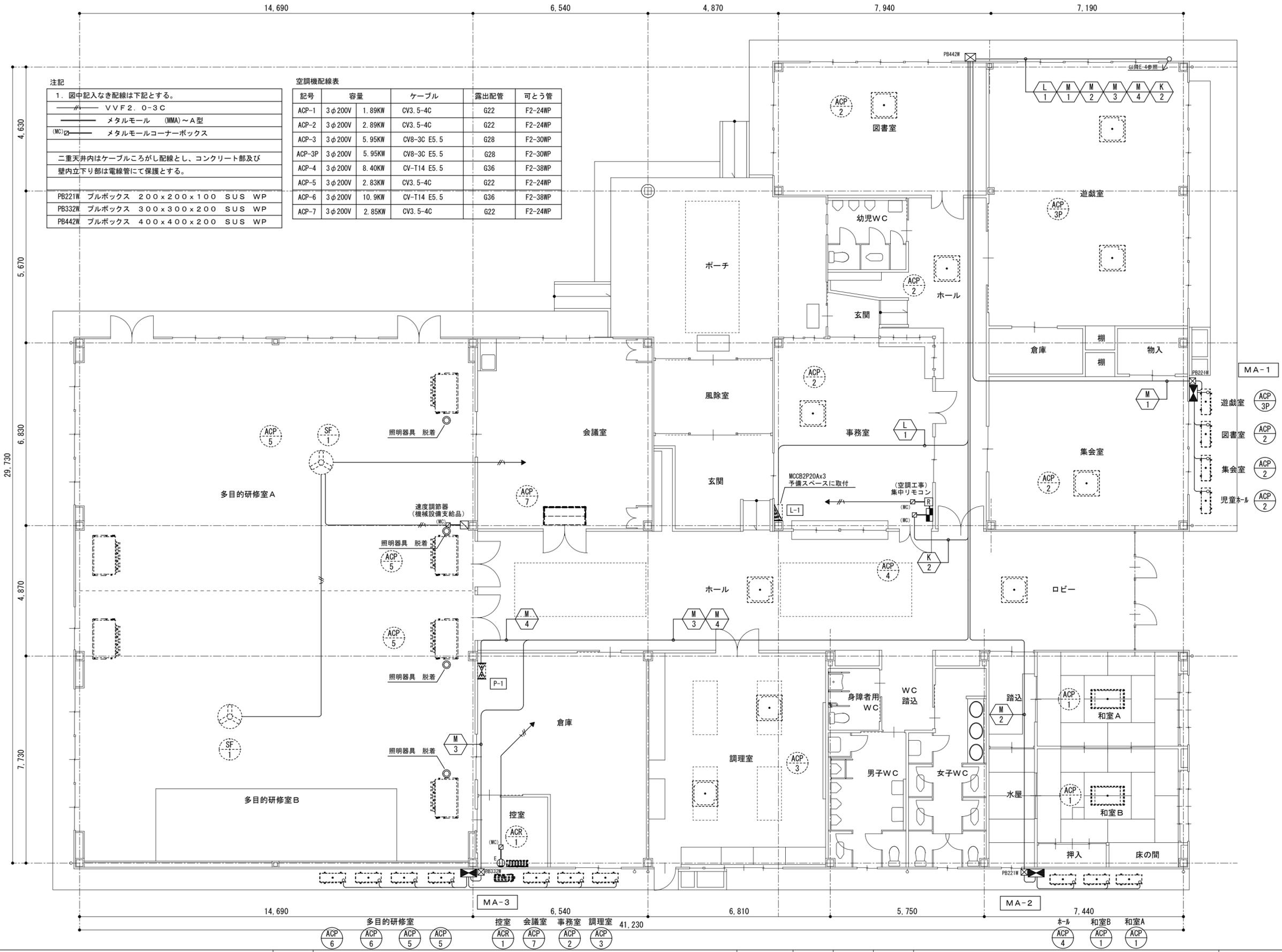
改訂日	改訂記号	改訂内容	印	設計・監理 一級建築士事務所登録 三重県知事 1-2319	管理建築士 承認 設計 製図	津市川合公民館空調設備改修工事	年月日	No. E-5
				株式会社 マ ッ ダ 設 計 514-0064 三重県津市長岡町800-90 TEL: 059-228-6590 FAX: 059-228-6590	一級建築士 大臣登録 264600 松田 恭一	図面名	縮尺	原図: A2
						高圧単線結線図		



動力分電盤リスト

盤名称	幹線番号 結線	負荷				分岐開閉器容量			基本結線図記号		現地制御盤				中央監視盤					
		機器 番号	機器名称	設置階	容量 (KW)	分電盤二次側配線	種類	P	AF	AT	主 回路	操作 回路	備考 (インターロック・連動)	表示		表示				
														作 用	運 転	故 障	満 水	減 水	作 用	運 転
MA-1 (屋外壁掛SUS)	MCB3P 100AF/100AT 14.62kW CV-T22'	1	ACP-3P	1	5.95	CV8'-3C E5.5' (G28)	ELB	3	50	40	A2									
		2	ACP-2	1	2.89	CV3.5'-4C (G22)	ELB	3	50	30	A2									
		3	ACP-2	1	2.89	CV3.5'-4C (G22)	ELB	3	50	30	A2									
		4	ACP-2	1	2.89	CV3.5'-4C (G22)	ELB	3	50	30	A2									
MA-2 (屋外壁掛SUS)	MCB3P 100AF/75AT 12.18kW CV-T22'	1	ACP-1	1	1.89	CV3.5'-4C (G22)	ELB	3	50	15	A2									
		2	ACP-1	1	1.89	CV3.5'-4C (G22)	ELB	3	50	15	A2									
		3	ACP-4	1	8.40	CV-T14' E5.5' (G36)	ELB	3	50	50	A2									
MA-3 (屋外壁掛SUS)	MCB3P 225AF/200AT 39.15kW CV-T100'	1	ACP-5	1	2.83	CV3.5'-4C (G22)	ELB	3	50	30	A2									
		2	ACP-5	1	2.83	CV3.5'-4C (G22)	ELB	3	50	30	A2									
		3	ACP-6	1	10.9	CV-T14' E5.5' (G36)	ELB	3	50	50	A2									
		4	ACP-6	1	10.9	CV-T14' E5.5' (G36)	ELB	3	50	50	A2									
		5	ACP-7	1	2.85	CV3.5'-4C (G22)	ELB	3	50	30	A2									
		6	ACP-2	1	2.89	CV3.5'-4C (G22)	ELB	3	50	30	A2									
		7	ACP-3	1	5.95	CV8'-3C E5.5' (G28)	ELB	3	50	40	A2									





注記

1. 図中記入なき配線は下記とする。

—	VVF2.0-3C
—	メタルモール (MMA)~A型
(MC) □	メタルモールコーナーボックス

二重天井内はケーブルころがし配線とし、コンクリート部及び壁内立下り部は電線管にて保護とする。

PB221W	プルボックス	200x200x100	SUS	WP
PB332W	プルボックス	300x300x200	SUS	WP
PB442W	プルボックス	400x400x200	SUS	WP

空調機配線表

記号	容量	ケーブル	露出配管	可とう管
ACP-1	3φ200V 1.89KW	CV3.5-4C	G22	F2-24WP
ACP-2	3φ200V 2.89KW	CV3.5-4C	G22	F2-24WP
ACP-3	3φ200V 5.95KW	CV8-3C E5.5	G28	F2-30WP
ACP-3P	3φ200V 5.95KW	CV8-3C E5.5	G28	F2-30WP
ACP-4	3φ200V 8.40KW	CV-T14 E5.5	G36	F2-38WP
ACP-5	3φ200V 2.83KW	CV3.5-4C	G22	F2-24WP
ACP-6	3φ200V 10.9KW	CV-T14 E5.5	G36	F2-38WP
ACP-7	3φ200V 2.85KW	CV3.5-4C	G22	F2-24WP

改訂日	改訂記号	改訂内容	印	設計・監理 一級建築士事務所登録 三重県知事 1-2319	管理建築士 承認 設計 製図	津市川合公民館空調設備改修工事	年月日 1/100	No. E-7
				株式会社 マ ヅ ダ 設 計 514-0064 三重県津市長岡町800-90 TEL: 059-228-6590 FAX: 059-228-6590	一級建築士 大臣登録 264800 松田 恭一			